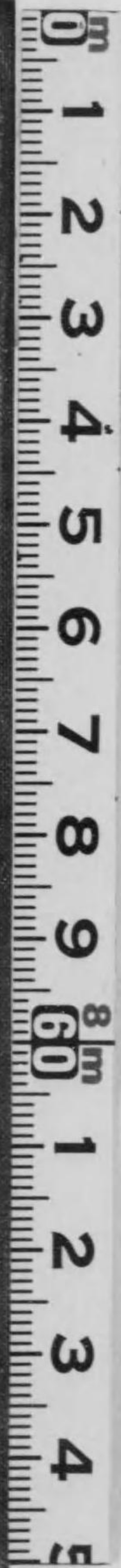


263
103



始





迫田達哉著

尋常小學

地理詳解及學習指導

卷一

東京出版社刊

大正

14.6.27

丙交

はしがき

□本書は、修正尋常小學校地理書を中心として、其の材料を敷衍し且つ具體化して實際教授者の便宜のために編纂したものである。本書の材料は教師の説明すべき範圍を限度として最新精確なるものを示してある。

□本書は、兒童の豫習指導、復習指導の方法及教授上の注意を系統的に具案してあるから、之によつて學習を進展せしむれば、組織的知識の獲得が出來ると共に地理的理法の凡てを會得せしむることが出来る。

□本書は文章を平易にし、通俗的に書き現してあるから、兒童の參考書としても又適切であることを信ずる。

□本書は余が多年の經驗と軌近の心理學とを基礎として書いたものである。

□本書の編纂に當つては、其の道の専門家の著者並びに先輩友人諸賢の指導に俟つ所が少くない。こゝに記して著者並びに發行者に深甚なる感謝の意を表する次第であ

る。

- 一、教研 大日本地理精説 栗原寅次郎著 大同館發行
- 一、大日本地理精義 小林房太郎著 南光社發行
- 一、最新地理教材の研究 野口保興著 明治圖書株式會社
- 一、變動地理教材の研究 野口保興著 明治圖書株式會社
- 一、新地理書挿繪解説 増澤 淑著 同上

口終りに本書の編纂に當つて直接盡されたる畏友、樋口友吉、有富郁夫兩君の多大なる好意を謝す。

大正十三年四月

本郷湯島の寓居にて 著書識す。

第一日 本 三

第二 關東地方 三三

一、區域 三五

二、地勢 二六

三、産業 三五

四、交通 四一

五、都邑 四六

六、伊豆七島・小笠原諸島 五七

第三 奥羽地方 六一

一、區域 六二

二、地勢 六四

三、産業 七〇

四、交通 八一

五、都邑 八三

第四 中部地方

一、區域 八八

二、地勢・氣候 九〇

三、産業 一〇四

四、交通 一一三

五、都邑 一五六

第五 近畿地方

一、區域 一二九

二、地勢 一二九

三、交通 一四〇

第六 中國地方

四、産業 一四六

五、都邑 一五六

一、區域 一七四

二、地勢 一七四

三、産業 一七五

四、交通附瀬戸内海の交通 一八七

五、都邑 一九三

第七 四國地方

一、區域 二〇〇

二、地勢 二〇〇

三、産業 二〇四

四、交通……………二〇六

五、都邑……………二〇八

第八 九州地方……………二二三

一、區域……………二二五

二、地勢……………二二六

三、産業……………二二六

四、交通……………二二六

五、都邑……………二四〇

六、薩南諸島・琉球列島……………二四六

附錄 挿繪の説明……………二五〇

第一、日本……………二五〇

第二、關東地方……………二五三

第三、奥羽地方……………二二二

第四、中部地方……………二六九

第五、近畿地方……………二八四

第六、中國地方……………二九五

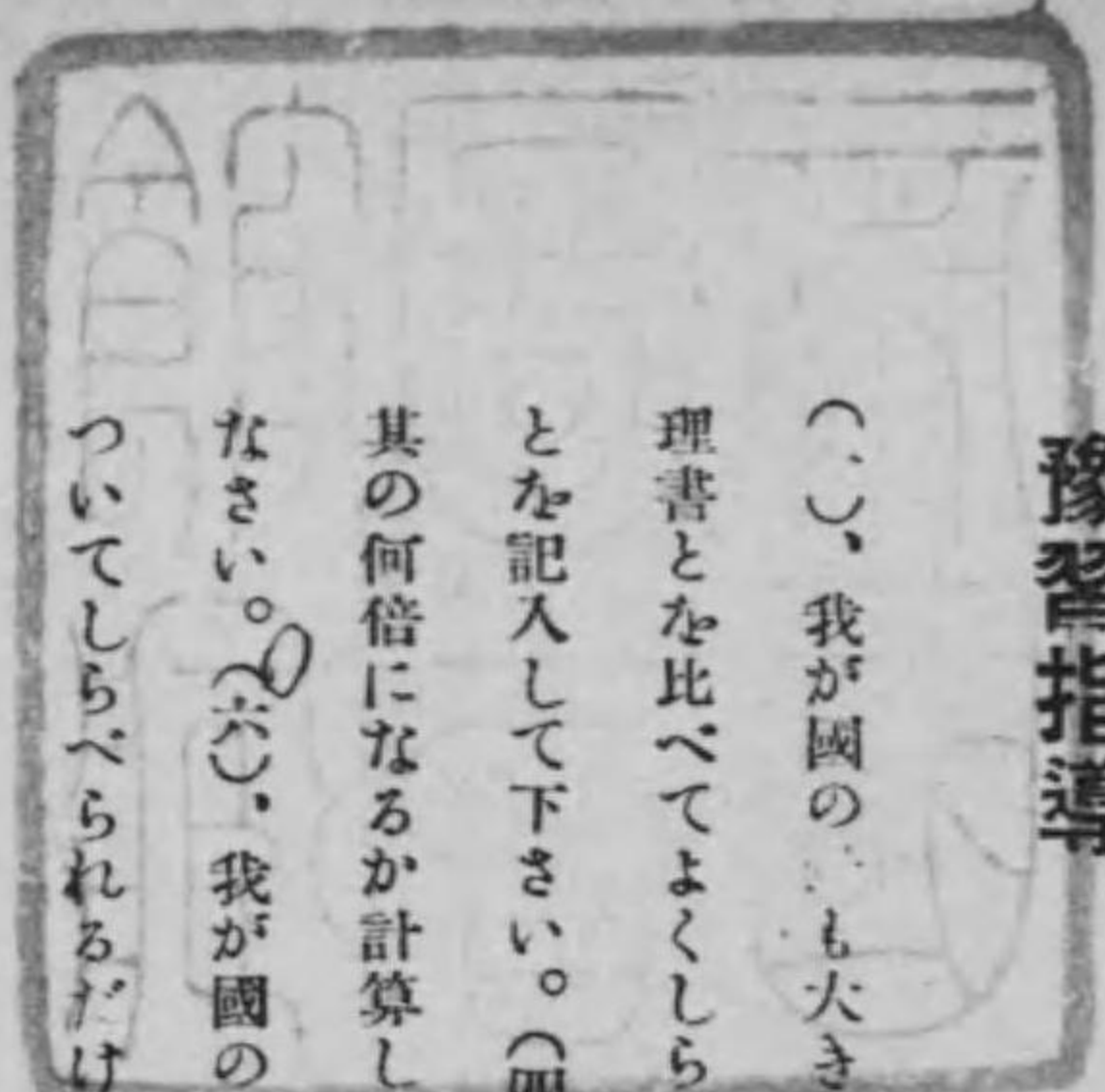
第七、四國地方……………三〇〇

第八、九州地方……………三〇四

尋常小學
地理詳解及學習指導
卷一

第一日本

豫習指導



(一)、我が國の最も大きな島六つの名を帳面に書きぬいて御覽なさい。(二)、我が國の四周について地圖と地理書とを比べてよくしらべなさい。(三)、日本全國の地圖を半紙一枚に描いて島の名前と、まはりの海の名前とを記入して下さい。(四)、あなたの住んでゐる村(市町)の面積は幾方里ですか、そして日本全國の面積は其の何倍になるか計算して御覽なさい。(五)、あなたの村の地勢圖を書いて、日本全國の地勢圖と比べて御覽なさい。(六)、我が國の氣候は世界中でどんなものでせうか、寒さや、暑さや、雨の降る量や、風の方向等についてしらべられるだけしらべて下さい。(七)、山地と平地とでは産業や、交通にどんな影響がありますか、自分の住んでゐる村について見て、日本全國のことを研究なさい。(八)、日本の川は外國の川とどんな點が違つてゐるか、地理の四頁の四行から五行までの間をよく読みながら地理附圖と比べて御覽なさい。(九)、暖流や、寒流があるとなぜ水産業が盛になるのでせうか。(一〇)、工業はどんなところに發達するでせう。(一一)

一、交通上大切なものは何と何ですか、書きぬいて御覽なさい。地理書の五頁にあります。(一二)地理書三頁の「面積比較圖」と五頁の「國民の民族別と其の割合」の圖とを、洋半紙一枚に書き上げて色をぬつて下さい。(一四)、五頁、六頁、七頁の挿繪をよく御覽なさい。(一五)、我が國八千萬の民族の數を、民族別による表を作つて下さい(方眼紙を使つて)。(一六)、行政區劃とは何でせう、あなたは何縣ですか、そして縣廳は何といふ所にありますか。北海道や、樺太と比べて御覽なさい。

教材解説

我が國の領土、四周

我が大日本帝國は亞細亞洲の東部に位して、太平洋中にある日本列島と、亞細亞大陸の東部に突出してゐる朝鮮半島とから成立つてゐる。

其中日本列島は、千島の北端、北緯五十度五十六分から臺灣の南端、北緯二十一度四十五分まで凡そ一千三百里の間。更に經度を見れば、東經百十九度十八分から、東經百五十六度三十二分の間にあつて、東北から西南に亘る三個の變形をなして斷續し、大陸との間には、オホーツク海、日本海、東支那海を隔てて、露西亞のシベリヤ

及び支那と對し、東南の方面は遙かに太平洋を隔てて北米と相對してゐる。

而して幅の最も廣い所で僅かに六十里を超えず、南亞米利加洲の智利と共に世界中で稀に見る細長い國である。

又朝鮮半島は北から南へかけて二百里餘あつて、北の方は、支那の滿洲と露領の西比利亞とに境を接して、南に突出し、日本海と黄海とを分けてゐて、朝鮮、對島の二海峡によつて九州本島に相對してゐる。

樺太は北緯五十度以内を日本の領土として露領樺太と境を接してゐる。

其中で一番大きいのは本州で、次は北海道本島、九州、樺太、臺灣、四國等である又小さい島々の中では、琉球列島、千島列島が主要なもので、小笠原列島は、日本列島の東南にある。以上之等の島々を合すれば、其の數は無慮四千である。

(備考)

我が帝國の國號としてゐる日本なる名稱は、日の出る所といふ目出度い意義を有するのであるが、果して何時、頃から此の名稱を用ひ始めたかといふことについては定説がない。或は第三十六代孝德天皇の大化元年の頃か

ら用ひられたといひ、或は又我が國は古來「ヤマト」と呼んでゐたが、支那や、三韓の東方にあるがために、「ヒノモト」なる思想生れ遂に日本となつたとも稱する。

(注意)

(イ)、日本列島、琉球列島、千島列島の列島、小笠原諸島の諸島、朝鮮半島の半島、之等の地理的術語は、郷土の地勢を利用し或は模形を使用し、更に地理附圖によつて概念の内容を具體化して理解せしめをべきものである。(ロ)朝鮮半島の長さ、我が國の延長との比較をなさしむる必要がある。類化の基礎概念として、自分の屬する縣の縦の長さの何倍に當るかの概算をなさしむべし。(ハ)方角の觀念をつくる必要がある。先づ教室の天井に方角を示した圖をはりつけ、研究すべき場所の方向を指さし、しめ、更に地圖の方向と比ぶべきである。

我が國の面積

帝國の總面積は四萬三千七百七十八方に達し、之を亞細亞洲の全面積二百七十八萬八千八百方に比ぶれば、略六十分の一に當り、又世界陸地の總面積八百九十五萬方に較ぶれば、凡そ二百分の一に當る。今其の内譯をなせば次の通りである。

本州 一四五七一方里

朝鮮	一四三二二方里
北海道本島	五〇八三方里
九州	二六一七方里
樺太南部	二三三九方里
臺灣	二三三二方里
四國	一一八〇方里

(備考)

我が帝國の領土が斯くの如く廣くなつたのは、近年のことで、彼の明治二十七八年の日清戰爭以前にあつては僅かに二萬四千七百九十四方里で、現在の面積の約半分ぐらいしかなかつたが、下の關係の結果臺灣が我が領土となつたので、二千三百三十二方里を増加し、更に、日露戰役の際樺太を得て約二萬九千方里となり、四十三年には朝鮮を併合して、四萬三千餘方里の面積を有するやうになつた。

又歐洲戰爭の結果國際聯盟より統治を委任された我が南洋は、所謂B式委任統治にて、國際法上實質は領土となつてゐると見てよいのである。又大正四年の新條約により九十九ヶ年の間租借したる關東州も、國際法の認むる所の概念によると領土と何等選ぶ所はないとされてゐる。

更に、南滿州、内蒙古、北樺太半分も漸次我が勢力範圍となりつゝある。

今我が國の面積を世界の主なる國々の面積と比較する爲に左に列強の面積を示すと、

國名	面積
英吉利	二〇、七六七
佛蘭西	三四、七八三
伊太利	一八、五八三
獨逸	三五、〇六八
露西亞	三三三、五六二
北米合衆國	五〇八、二九二

(注意)

(イ)、面積の概念を明かにしなければならぬ。算術書の第一學期の「面積其の一」と連絡を保つて、平方尺平方寸に對して、平方里即ち方里、方哩の内容を具體的に理解させなければならぬ。一方里の觀念は、郷土直觀の範圍)に於て目測をなさしむべく、又自己の屬する村、町等の面積によつて、之を理解せしめなければならぬ。(ロ)四萬三千方里と、口にいへば極めて簡單であるが、兒童をして其の廣さを想像せしめるためには種々の工夫をする必要がある。

地勢、氣候、産業、交通

我が國の大部分は溫帯に屬し、ただ臺灣の一部だけが熱帯に屬してゐて、寒帯に屬してゐる部分はない。之を緯度の上から見ると、北緯二十三度半から六十六度半に至る間にあつて、氣温の昇り降りの差が少く、總じて溫暖であるといつてよい。其の上雨量が豊で、地味が肥えてゐるから、農産物や林産物が多いのである。土地は一般に高峻で、各島々のほぼ中央を山脈が縦に通つて分水界をなしてゐるから、平野が少く従つて川も短い。そして川はヨーロッパ洲あたりの川に比ぶれば、流れが急であるから、發電には便利なこともあるが、交通上にはあまり利用されてゐない。又産業の發達状態を見ると、之等の地勢と氣候とに應じて甚業はそれと相當に發達してゐる。即ち農業は、關東平野、濃尾平野、越後平野等の大平野にそれと、米麥其他の穀物が栽培せられ、北海道、樺太等の平野には、内地の米の代りに麥が栽培せられてゐる。(近年北海道にも米の收穫があるが)。林業は山脈の連る處、到る處に行はれて良材を出す。即ち吉野川流域の杉、臺灣の檜、北海道及び樺太の松、朝鮮北部の良材等は特

に著しいものがある。鑛業も漸次發達し、金銅、石炭等の産額は少くないのである。水産業は、暖流と寒流との影響をうけて、其の産物は極めて豊富である。

工業は内地に於ては鐵の供給は不十分であるが、原動力たる石炭及び電力の供給が容易であるがために、支那の大冶及び朝鮮等から輸移入した鑛石によつて鐵の不足を満し、又支那印度などの地方から輸入された原棉を加工するが爲めに紡績工場も發達し、英米獨等の工業國に比すれば、未だ幼稚ではあるが、近年に於ける北九州の工業地帯の發展の有様は旭日昇天の勢を示してゐる。

従つて、之等の天産物乃至、工業品を或は外國に輸出し、或は、之が不足の分を外國に仰ぐこととなつてこゝに貿易が起るわけであるが、吾が國の貿易額も年々に増加して年三十億圓に上ることもある。

而して産業の發達は交通に影響を及ぼし、陸には鐵道を主とし、東京及び大阪附近は最もよく發達してゐるが、其の他の地方に於ても、漸次發達して表日本の幹線のみならず、裏日本の方面に於ても着々縦貫線を完成し、更に之等縦貫線と縦貫線との間に於て横に連絡が結ばれつゝあるので、ヨーロッパに於ける白耳義、英吉利等の國々に比すれば、其の面積との割合に於ては短いけれども、アジア洲に於ては、支那本部の東部及び印度と共に、我が國は、鐵道延長の最も大なる地方の一つに數へられてゐる。

近年自動車の使用せらるゝことが著しくなるにつれて道路が交通上重大なる意義を有するやうになつた。道路は國道、縣道、村道等が年と共に開拓されて發展しつゝある。郵便は其の制度の發達史から見れば、歐米の諸國に後てることは勿論であるが、其の設備の完全なることは世界稀に見るものであると評せられてゐる。

電信は、今日全國の津々浦々に至るまで之が敷設せられざるはなく、又海底電信によつて、臺灣などの殖民地と**信通**し得るのみならず、遠く、支那及びアメリカ合衆國とも通信することが出来る。

電話は主として、近距離の地方及び都市に於て、其の區域内の通信に使用されてゐるが、長距離電話も二三百里の間は有効に使用することが出来るやうになつた。

無線電信は、船橋其の他の無線電信局と航海者間の間に通信されてゐるが、未だアメリカ洲との間の通信には完全なる成功を期することが出来ない。

今年になつてからは無線電話の使用は大都市の娯樂の用に供せられるやうになつた海上の交通は、造船術、航海術の進歩並びに港灣の設備が完成するに従つて非常なる發達をとげ、内地は固より、北米、南米、アジアの諸港及びヨーロッパの諸港、太平洋等に至るまで安全に航海を行ふことが出来るやうになつた。中心の港は横濱、神戸大阪、門司などである。往時、外國航路は多く外國人の手によつて占領されてゐたが歐洲戦争後は特に、我國の船舶も増加して、歐洲諸國の手にあつた航海を我が手に收めることが出来て、今日では、歐米の航海業者と肩を並べることが出来る地位に達したのである。

(備考)

(1)氣候の統計

東京

年平均 氣壓	平均 初温	年平均 降雪	年平均 降水量
七六〇、七	一三、八	一一、二五	一五六一
大泊同			
七五八、九	二、八	一〇、二五	七五〇
大阪同			
七六一、四	一五、〇	一一、二四	一三七〇

(2)水産物中、寒流に、生活するものは、鯨、鱈、鱒、鮭、蟹等であつて、暖流に棲息するものは、鰯、鰱、鰒、鱈等である。寒暖二流の落ち各ふ場所に水産物の多いのは、常識的に考へると、其の流れに流されて集るとも見られるが、世界三大漁場のあたりをしらべて見ると、さういふ單純なる理由ではなくつて、プランクトンと稱する浮游物が、魚類の食物として最も好むところであるからである。

(注意)

(イ)、世界最大の長流ミシシッピ河の一千七百里と、吾が国内地の最大の長流信濃川が百里に足りないのと比べてたり、アマゾン河口の幅が、東京から豊橋までの長さであることなどを思へば、かつて外國人が、東京灣を見て「日本にも大きな川があるわい」と評したといふことも、うそだとは思へない。

(ロ)、灌溉、發電、原料、等の術語の研究。

(ハ)、「地勢」といふ語は「土地の形勢」といふ意味で、陸地の高低に基く山脈、平野、谷、河川、湖沼、半島、岬、等を要素としてゐる。

(ニ)、「氣候」と稱するのは普通に氣温のことに狭く使用してゐるが、雨量、風の方向等も含んでゐるのである
(ホ)、「交通」といへば從來陸には汽車、海には汽船といつてゐたが、だん／＼自動車の使用が盛になるにつれて道路が大事な領域となると共に、ロンドン、パリ間には既に航空の定期交通が開かれてゐる今日此の方面にも注目すべきである。

(ヘ)、地勢、氣候、産業、交通の四つを一綱目として述べてゐるのは、之等の有機的關係を重視してゐる編者の立場が明かに現れてゐる。之等の點を見のがして、單に、之等を斷片的に何等の因界關係もなく説明し終るは、地理的學習態度を破壊するものであると斷言すべきである。

又農工業等の發達はやがて商業の發達を促し、其の國の貿易額にも直接影響を及ぼすものである。我が國の大正十二年に於ける貿易額が三十四億圓に達してゐるのも、近時非常な勢を以て發展しつゝある製造工業に負ふことが極めて大きいものがあると見てよからう。

(ト)、産業といふ言葉を廣い意味に解するならば商業まで含ましてよいのであるが、狹義に於ける産業即ち嚴密なる意味に於ては之を含まないと見るのが妥當である。

(チ)又産業と産物との區別は、往々兒童が明瞭を缺いてゐるやうに見える。いふまでもなく、産物は産業によつて生産されたものであり、産業は産物を生産する仕事であることを明かにしなければならぬ。

國 民

我が國民の總數は大正九年十月一日の國勢調査の際に於ける人口調査の結果によると、七千七百九十七萬一千七百人(朝鮮、關東洲、青島、南洋委任統治の全部を含む)であつたが、年々の人口の増加の割合を約六十萬と見ると、現在の我が國人口の總數は約八千萬と見てよからう。

今住民の種族について見るに、大別して、蒙古人種に屬する大和民族、朝鮮種族、漢族、アイヌ種族、ギリヤーク及びオロツコ種族、と海岸島嶼人種に屬する臺灣蕃族との二種に區別することが出来る。

大和民族は、位置と氣候との影響をうけて他の蒙古人種より優れたる日本人なるものを生じ、萬國無比の國民性を有してゐる。そして其の内地に住するものが約五千六百萬の多きに昇り、我が國民の過半を占めてゐるが、近來海外に雄飛するものが夥し

くなつて、朝鮮（三十五萬）、臺灣（十五萬）、樺太南部（八萬）、關東州（八萬）、支那（十三萬）、南亞米利加洲（十四萬）、大洋洲（十二萬）、其の他海外の諸地方（約五十萬人）に散在するもの總計百五十五萬を以て數へることが出来る。

朝鮮民族 朝鮮民族は明治四十二年の合併當時は、戸籍を有しないものが多く、其の數を知るに由なく、約一千萬と稱せられてゐたが、大正十年末の調査の結果によると、一七〇五九三五八人となつてゐる。

臺灣人 臺灣には凡そ三百三十六萬人の漢族と、十四萬の蕃族とが住んでゐる。漢族は、明の時代に對岸の廣東、福建の地方から移住したものらしい。主に都會地に住んでゐて經濟上に於ては可なり勢力をもつてゐる。

蕃族は熟蕃と生蕃との二種に區別す。熟蕃はもとは支那民族に屈服し、今日は我が總督府統治の下に温順に服従してゐるものであるが、生蕃は性質が極めてあらく原始人を想像せしめる生活様式をとつてゐる。しかし其の敵し難きを知つてだん／＼降参して、帝國の文化を喜ぶものも出て來るけれども、ダイヤル種族の如く兇暴なる者延

長百五十里の隘勇線によつて今尙壓迫されつゝあるものもある。

アイヌ人 アイヌ人はもと關東地方のあたりまで可なりの勢力を張つてゐたものらしいが、大和民族に壓倒されて漸次北に退いて、今日では北海道の日高、膽振地方、千島諸島、樺太の南部地方等に住して其の數合計僅かに二萬人にすぎない、漁獵、農耕の業に従事してゐるが、掘立小屋の貧しい生活をつゞけてゐて、人口は年々に減少して行く傾きがあるので、現在は法律の力によつて之が種族の絶滅を防ぐ方案が出來てゐる。之をアイヌ人保護法案と稱してゐる。

ギリヤーク族 ギリヤーク族は、我が樺太の北部に住む種族で、其の數僅かに百餘人に過ぎず、日本の國民構成の分子としては別に研究すべき價值あるものでもない。オロツコ族 この種族も樺太の中部地方に住する民族で其の數が三百五十人にすぎない。夏季は多數の馴鹿を率ゐて河海近くに天幕生活をなし、冬になると深く山地に入つて穴居を營む。

〔備考〕

(1)、我が國民性は、忠君愛國の精神に富み、祖先を崇拜するところから孝行を尙び、現實性と樂天性とを有し淡白で單純である。従つて排他的根性を有し、幽玄なる哲理宗教を發現せしむべき思索的態度の如きは最も缺如せるところである。

(2)、人口の密度—一方里について。

京東府、二萬六千七百人、

岩手縣、八百五十六人、

北海道、三百九十四人、

内地平均、二千二百三十九人、

朝鮮、一千二百二十四人、

臺灣、一千五百六十七人、

樺太、四十八人、

外國の密度と比較すると、

白耳義、三千七百人、

和蘭、三千人、

英吉利、二千三百人、

日本の内地は第四位になつてゐる。

(3)、列國の人口。

國名 人口

支那 三七七、六七三(千人)

ロシア 一三三、九七三

北米合衆國 一〇五、七一〇

屬領 一二、一四六

獨逸 五九、八五八

英吉利 四七、三〇八

屬領 三九三、〇三九

佛蘭西 三九、二〇九

屬領 三五、五五六

伊太利 三八、八三五

屬領 一、六八〇

(4)、我が國民の體格に就いて見るに、徵兵検査の結果、身長五尺一寸餘、體重十三貫八百匁内外であるが、之を歐米諸國に比べると非常に劣つてゐるといはれてゐる。吾々日本國民としては考ふべきことである。

(注意)

(1)、五頁の「臺灣土人と其の住家」、六頁の「アイヌ人と其の住家」、七頁の「ギリヤク人と其の住家」、三つの挿繪を比較觀察せしめ、之等未開民族に對して同情の念を以て之を迎へ、我が大和民族に同化せしむべく心掛けなければならぬ。

尙挿繪の詳細な説明は本書の附録を参照されし。

(ロ)、歐洲戰爭終結媾和談判の際、ウイムソン大統領の提唱した大綱目の一つに掲げられた「民族自決主義」の精神は、歐洲地方に於ける獨立國を増加せしめ、引いて我が日本の屬領に於ても面白ろからざる現象を耳にすることが屢々であるから、教授者は十分に之が取扱に注意を要することである。

行政區劃

文化の程度に應じて、行政官廳の組織を異にする。従つて其の官廳の名前も異にし
てゐる。本州、四國、九州地方を分ちて三府四十三縣となし、府には府廳、縣には縣
廳を置いて之を治めしめ、北海道地方を統轄するために、一道廳、六市、十四支廳を
をいてある。樺太には五支廳の上に樺太廳ををいてある。臺灣には總督府の下に五州
二廳ををいてある。朝鮮は全半島を十三道、十二府、二百十八郡、二島に分ち關東州
には關東廳を置き、其下に三民政署を設けてある。南洋は南洋廳の下に六民政區に分

けてある。

(備考)

(1)、内地の全面積二萬四千七百九十四方里は八十九市、六百三十六郡に區分されてゐる。而して岩手縣の九八八方里を最大とし、福島縣八九〇方里、長野縣八七九方里、新潟縣八一七方里、最も小なるは大阪府の一五五方里、香川縣一二〇方里、東京府の一三八方里などである。

(2)、往時に於ける、畿内、東海、東山、北陸、山陽、山陰、南海、西海の七道は行政上の區分たる意義を有してゐたが、現今に於ける、關東地方、奥羽地方等と分つは研究の便宜上分ちたるもので、之が行政的意義のないことは明かである。

(3)、政府——首府東京には政府即ち中央行政官廳なるものがあつて、以上の地方行政官廳の行政を監督し又統理して國民の幸福と國家の安寧とを圖る目的を以て活動してゐる。

(注意)

(イ)、行政上の區分の境界線は、多くは自然の地形たる、川や山脈によることが多い、
(ロ)、縣と縣との境の如きは地圖には目にたつ線を以て示してあるので、兒童は多く何か特別なる縣境の溝でもつくつてある如く考へてゐる場合が少くないから注意すべきである。

(ハ)、行政上の區分は往々變更されることがある、都市が接續町村を併合したりすることがある。

(ニ)、今まで完全なる自治團體であつた郡が、單に一行政官廳たるに止り、自治團體たる意義を失つたりする場合がある。

(ホ)、行政とは、國の行政機關及び公共團體の根源に屬する作用の謂であるが、ここでは、政治を行ふ意義ぐらゐりに止めてよからうと思はれる。

復習指導

(一)、白紙に日本全國の地圖を描き、地圖を見ながら次の事柄を記入なさい。(1) 四周の海の名。(2) 主な島々の名。(3) 我が國の面積は幾方里ですか、約四萬三千方里は正確に記憶しなければなりません、外國の地理を研究する時、何時でも、比較するに用ふるのです。(4) 租借地とは何ですか。(5) 川は如何に人間に利用されますか、上流、中流、下流の三つに分けて主として利用される方面について短い言葉でお帳面に書きぬいて下さい。(6) 水産物はどんなところに多いのですか、そしてそれはどういふ譯で多いのですか。(7) 交通上大事な要件は何と何ですか。

第二 關東地方

豫習指導

(一)、關東地方の地勢圖を描いて、各地方の産物を其の地圖の上に記入なさい。(二) 同地圖を半紙一枚に描いて、港、鐵道、縣廳所在地、縣名を記入して下さい。(三) 日本第一の關東平野はどうして出來たのでせう、自分の村の平野について考へて見れば分ります。(四) 火山脈と山脈とはどちらがひまですが。(五) この地方の川は主としてどの方面に利用されてゐますか。(六) この地方はなぜ人口の密度が大なのでせう、其の理由を知つてゐるだけかき上げなさい。(七) 九頁「關東地方の地勢の略圖と斷面圖」十頁「箱根川の一部分と富士山」、十一頁「日光の東照宮」、十二頁「相模川上流の發電所」、十三頁「霞浦」をよく御覽なさい、そしてよく分らない所を先生に質問なさい。(八) 農業の發達に必要な要件は何々でせうか、書き上げて御覽。(九) 同じ平野でも、米が出來たり、麥だけ多く産したりするのはどういふわけでせう。(一〇) 關東平野に野菜がたくさん産するとしてありますが、どういふ譯でせう。(一一) 群馬、埼玉の養蠶業と、桐生、足利、八王子等の絹織物とはどんな關係がありますか。(一二) 東京横濱附近の工場の原料及び原動力はどこか

ら供給されるでせう。(二三)製鍊所とは何でせうか。(一四)千葉縣方面の水産物は主としてどこに運ばれますか。(一五)十六頁の米及び麥の産額比較表を擴大して色をぬつて下さい、之は大正九年のしらべですが、統計年鑑や國民年鑑などを見るときと新しい材料がありますからそれによつて作る方法を工夫して下さい。(一六)十七頁「東京、横濱及び其の附近に於ける大工場の分布」をよく御覽下さい。(一七)十八頁「日立鐵山の製鍊所」常盤炭田における石炭の積出し」の挿繪をよく御覽下さい。(一八)世界地圖と日本全圖とを出して東京から發してゐる主なる鐵道(旅行案内参照)、及び横濱から出てゐる内外の諸航路を書きぬきなさい。(一九)東京から下關までの距離と時間とを旅行案内によつてしらべなさい。(二〇)東京から名古屋へ行くに東海道線によるのと、中央線によるのとは時間の上にとだけだけの差がありますが旅行案内でしらべなさい。(二一)「東京停車場」碓氷峠の鐵道とトンネル」「横濱港の繋船岸」をよく御覽下さい。(二二)關東地方の主なる都邑についてしらべなさい。(二三)東京はどうして大都會になつたのでせう。(二四)横濱について出來得るだけくはしくしらべなさい、地理以外の本も參考して、そしてしらべただけノートにかきぬきなさい。(二五)横須賀についてしらべなさい。(二六)伊豆七島、小笠原諸島についてしらべなさい。(二七)皆さんの近所に、關東地方を旅行したお方があつしやつたら、お話を伺つて、學校で皆さんに教へてあげて下さい。(二八)關東地方の、繪畫や、繪葉書をもつてあつしやる方は、學校へもつて行つて皆さんに御覽に入れて下さい。

教材解説

一、區域

關東地方は東西五十里、面積二千八十二方里で。人口は一千百十三萬で内地人口の五分の一を占めてゐる。

今之を府縣別にすれば。

東京府	(藏大部 豆南諸島)	一三八、二三方里。
神奈川縣	(武藏一部 相模全部)	一五五、三九方里。
埼玉縣	(武藏大分)	二四六、六一方里。
千葉縣	(安房全部 上總全部 下總全部)	三二九、二九方里。
群馬縣	(上野全部)	四〇九、四六方里。

朽木縣 (下野全部) 四一八、一〇方里。

茨城縣 (常陸全部) (下總一部) 三九五、五一方里。

(備考)

前述の通り關東地方と稱するは、行政上の區分ではなく、研究の便宜のために、區分した名稱にすぎないが、古來この地方を關八州と稱してゐた。そして、東海道の相模、武藏、安房、上總、下總、常陸と、東山道の上野、下野、並びに伊豆七島、小笠原諸島を含むのである。

今日東京の避暑客などが房總地方と稱してゐるのは、安房、上總、下總をさすのであつて、養蠶業で名高い兩毛地方といつてゐるのは、上野、下野の稱である。

一、地 勢

關東地方は西部から北部にかけては、一體に山地で、關東、三國、那須の諸山脈が連り、南部の房總、三浦の二半島には丘陵が多いが他の大部分は一面の低地で我國第一の關東平野をつくつてゐる、そして數多の川が、北や西の山地から發して流れてゐる。

A 山

この地方の山は北部、西部、南部の三地方に分けて見ることが便利であるから、今西部の方からしらべて見るに、

この地方の西部には秩父地方の高臺をなして中部地方との境をつくつてゐる最も高いところで二千五百米突に達してゐない、そして富士火山脈に屬する箱根の火山がある富士火山脈は富士山を發して遠く伊豆七島小笠原島の方までつゞいてゐる。

北部は東に阿武隈山脈、其西に奥羽山脈が略南北の方向をとつて相連つてゐるし、三國山脈は、奥羽地方から南走してきた越後山脈の西南端で、高さ二一七〇米に達する平岳を最高としてゐる。

那須火山脈は三國山脈の南にあつて之と略平行し、朽木縣の北部に聳えて高さ一九一二米に達し、我國三大活火山の一と稱せられる那須山を盟主として、北方は更に奥羽山脈の上に噴起してゐる、男體、赤城、榛名、淺間等の諸火山を見ることが出来るし、之等火山地方は、風景がよく到るところに温泉が湧き出して保養遊覽に適してゐる。

る伊香保、鹽原、草津、日光は最も有名な温泉場である。

南部には、三浦半島の丘陵地があるが、平均高度は百米突内外で、この脈は一旦浦賀水道に没して、再び房總半島に現はれ、清澄山、鋸山等三四百米内外の山となつて房總半島の端に現れて再び太平洋中に没してゐる。

(備考)

(1)、男體山の高さ 二四八四米。

(2)、八溝山の高さ 一〇一〇米。

(3)、筑波山の高さ 八七五米。

(注意)

(イ)、火山と温泉との關係は十分に説明することが必要である。

(ロ)、地圖によつて山脈の高さを知ることが極めて重要なことであるが從來この方面の讀圖力の練習が出来てゐなかつた。地圖の色の具合によつて一見して何米ぐらゐの山脈であるかといふことを理解し得るやうにしたものだ。獨り山脈に限らず、川の長さ、海の深さ、甲地から乙地までの距離の見方が容易に出来得るやうにすることは地理教育上大事な使命である。軍隊の行軍に於て唯地圖だけをたよりに行進して行く將校の態度は

假令専門家とはいへ、吾人地理教授者に或意味の暗示を與へるものだといふべきだ。

(ハ)、灣、平野、半島、山脈、等の概念は、郷土を利用し得るだけ利用して、之を具體的にしなければならぬ。

(ニ)、九頁の地勢圖は擴大して小黑板に示し或は、兒童に地勢圖を作製せしむべきである。

(ホ)、手工と連絡して、この地方の模型を粘土によつて共同作製をなさしめ、繪具によつて塗らしむることは有效な方法であるが只意注すべきは、模型製作の場合には面積の方面と、高さの方面とが縮尺の割合を一致せしめ得ぬ不合理な結果に陥ることである。

(ヘ)、九頁の断面圖を模倣せしめて、任意に断面圖の兒童作業を課することは大切なことである。

(ヘ)、十頁及十一頁の挿繪は附録參照

B 川、平地

【利根川】 群馬縣の利根岳に源を發し、南に流れて、片品川、吾妻川の支流を合せ更に碓氷川、神流川、渡良瀬川をも合せて、栗橋の下流にある關宿といふところから分流の江戸川は東京灣に注ぐが、本流の方は、鬼怒川、小貝川の水を集め、印旛沼、霞ヶ浦などの湖水の水を合せて、銚子港に行つて海に入る。

本流の長さは八十三里、支流を合すれば延長實に千百二十二里、流域の面積一千方に及び、舟楫の利は二百十八里の長きに及んでゐる。そして河口の幅二十五町もある。この川は我國の川の中では水量の多いのと下流が流れが緩かであるために水運の便を興へることが偉大であるが、鬼怒川上流に於ける発電は、東京に送電して二百萬の人に電力を供給してゐる。

【荒川】 下流は隅田川といつて東京の町の端を流れてゐる、長さが四十五里、秩父地方に源を發してゐる、この川は比較的水量の多いのと、人工による施設とによつて交通に便利を興へることが偉大なものである、特に市内に於ては小蒸汽船の往來が繁く、熊谷町附近まで遡ることが出来る。

只然し數年前數回に渡る洪水の害を蒙つたが所謂荒川放水路なるものが出来て、東京市が巨額の費用を支出して赤羽鐵橋の下から新水路を開いてゐるからこの方面の禍は永久に除かれることになるだらう。

【多摩川】 源を秩父山中に發して東京灣に注いでゐる延長三十八里、河水が清澄で

あるから、既に徳川時代から江戸の町の人の飲料水として用ひたのであるが、現今は軌近の學術を應用して大仕掛に鐵管によつて水道となり東京市附近三百萬の使ひ水となつてゐる。

【那珂川】 那須火山に源を發し全長三十二里、川口から三里の間は汽船が往來してゐる。

【相模川】 山梨縣に於ては桂川と稱して、發電に利用せられ遠く東京附近に電力を供給してゐる、中流は相模川、下流は馬入川とよばれて相模灣に注いでゐる、本流の長さが三十六里、神奈川縣に於ける農産物は殆どこの川の附近に生じた平野によるものである。

【霞ヶ浦】 我國第二の大湖で、面積が十七方里、其の周圍が三十六里あつて、湖には土浦から、佐原に向ふ汽船の航路がある、水深一丈ぐらいの所が普通で、海拔七尺のところにある、鰻、鯉、鰕などの産出は夥しいものである。

(注意)

(イ)、關東平野は利根川を父とする日本第一の大平野であつて面積が一千方里あるといふことを、兒童想像經驗の世界に遊ばせるについて十分なる注意が必要である。この面積は、外國の地理を研究する場合、比較の基準材料として有効であるから是非暗記せしめておく必要がある。

(ロ)、最近になつて自然地理の方面よりも人文の方面を重視するやうになつたのは至極結構なことである、十二頁の發電所の挿繪や、東京市に供給する飲料水や、電力などの供給状態を十分に考究せしめればならぬ。

(ハ)、第十四頁の「産業が盛で、人口も多く、交通も便利で、いたる處に都邑がある」といふ文句は地理學習の有機的取扱を重視してゐるところからならべられたものと見ることが出来る。

(ニ)、平野と人生との關係は極めて密接で、交通が便利である許りでなく、産業も盛になり、村落も都市も多くの場合平野に出来るのである。只然し大古未開の時代には草木の少い山地が交通上便利であつたと見られてゐる。

C 海岸

【南海岸】 この地方の南部の海岸は、三浦、房總、伊豆の三つの半島が突出して、東京灣と相模灣とを抱いてゐる。

東京灣は、南北長さ三十五哩、東西十二哩、地盤の陥没によつて生じた灣であつて入口は僅か四哩の浦賀水道を以て灣の口を擁してゐる。三浦半島の觀音崎、房總半島の富津洲とに砲臺を設け、其の上横須賀の軍港によつて首府東京の嚴重なる防備に努めてゐる。沿岸はおほむね遠淺で海水浴に利用せられ、大森海岸に産する海苔は淺草海苔（東京では單に海苔といつてゐる）として世に賞美される。

相模灣は三浦半島と眞鶴崎とに擁せられて神奈川県南方に灣入してゐる。之も又陥没の結果生じた灣であるといはれてゐる。

この灣の沿岸には、鎌倉、小田原、大磯、國府津、逗子、葉山等の避暑地を控へてゐる。

【東海岸】 東海岸は銚子の半島によつて、鹿島灘と、九十九里濱とに分けられてゐる。半島の端は有名なる犬吠岬で白色の一等燈臺が設けられ、之によりて航海者は附近の暗礁の危険を防ぐことが出来る。

鹿島灘沿岸地方は殆ど出入がなくて單純で、砂濱が長く連つて唯僅かに那珂川の河口が湊の形を備へてゐるのみであるが、夏季海水浴場として東京方面から、大洗、湊、

平磯等の地方に出掛けるものが多くなつた。犬吠岬から大東岬に至る延長十四里の砂原は俗に所謂九十九里濱で、風光の優れてゐる點のみならず、鱒、鯉等の水産物も夥い。其の上、長者町、片貝、一ノ宮、飯岡等の如き海水浴場がだんくゝ發展しつつある。

大東岬の南方は房總半島の一山彙をなしてゐる地方で、海岸の出入には相當に富んでゐるが、海岸に山が逼つてゐるので港としては良好なものはない。

(注意)

(イ)、海岸が砂岸である場合には、海水浴場としては便利であるが、海底が浅いから交通上には少からず不便を感じるけれども、岩岸である場合には、自然の良港を生ずる場合がある。

(ロ)、海岸線といふ言葉の意味を明かにし之が文化に及ぼす影響の偉大なる所以を考へしむ。ヨーロッパの海岸線とアフリカの海岸線とを比較せしめて(地圖)兒童の知り得る範圍に於て之を事實の上から發表せしむべきである。

(ハ)、十五頁銚子港—附録参照

三、産 業

A 農業、工業

【米】 米の總額は八百萬石(内地産額八千萬石)で千葉縣(二百萬石)茨城(百八十萬石)栃木(百三十萬石)等は順次之に次ぐ。

【麥】 麥の産額は全國の總額三千萬石に對して其の六分の一を占め、茨城縣の百五十萬石は全國第一にして、埼玉縣の百三十萬石、其の他栃木、千葉、群馬等の諸縣にも亦相當の收穫がある。

【大豆】 大豆の年産額は八十五萬石で、内地の全産額四百萬石に比ぶる時は、約其の五分の一に當る。就中茨城縣は約二十五萬石を示してゐる。

【野菜】 東京横濱の二大消費地を控へてゐるために、其の栽培は非常に盛である。古來練馬大根、目黒の筍、千住の葱、川越の甘藷等は特に有名である。

【煙草】 この地方の東北部主として那珂川の流域地方に産する。中にも栃木縣の那須、芳賀地方は主産地にして、年額約二百五十萬貫を越え、我が國第一の産額を示し

茨城縣は太田の附近が主産地で年二百三十萬貫に達し栃木縣に次ぐのである。

【養蠶業】 本地方は其の地質が頗る桑の栽培に適する上に氣温と雨量とが之に適當してゐるから、古から養蠶業が盛である。中にも最も盛なのは群馬縣であつて、年産額四十五萬石の繭を出し、二千五百萬圓の價格に上つてゐる。其の産額は長野、愛知には及ばないが、全國では第三位になつてゐる。次に盛なるは埼玉縣であつて特に西部の秩父地方が旺盛である。年産額が三十五萬石である。その他茨城、東京、神奈川等の府縣も相當の産額がある。

【製絲業】 製絲業は群馬縣が最も盛で、我が國製絲の本場とも稱すべく、長野、愛知の二縣に次いで、我が國の第三位にある。就中、前橋、富岡、下仁田が主なる地方である。

埼玉縣は群馬縣に次いで、我が國第四の製絲業地で、大宮、熊谷、豊岡等は其の中心地である。

【絹織物】 絹織物業も亦盛に行はれて、中にも桐生、伊勢崎、足利、八王子、秩父

等は其の中心地として有名である。

桐生は古くから關東の京都と呼ばれる所で、此處に出来る御召、羽二重は特に名高い。伊勢崎は前橋の東南にあつて、この町や其の附近より産する銘仙は伊勢崎銘仙として有名である。年産額約九百萬圓内外。足利は、桐生と並び稱せらるゝ我が國屈指の機業地である。

八王子の絹織物は、全額千五百萬圓を下らぬ。秩父地方を主産地とする秩父銘仙は價額の比較的低廉なものと、質の堅牢なものとで知られてゐる。

次に東京、横濱附近の工場工業について、一言せんに、東京及び横濱といふ大消費地を控へてゐるのと、勞力の供給を得ることが容易で、其の上に、交通が便利であるために、多數の大工場が建てられて、盛に綿織物、毛織物、機械、染物、綿絲、肥料其他の雜貨を製造してゐる。其の工場は大小合せて三千六百、職工の數が二十三萬人に達してゐる。

右の外尚、石川島、月島の二大造船所があるし。小石川區にある砲兵工廠は約三萬

人の職工を使用してゐる。

(備考)

- (1)、農産物は上述の外、千葉縣の菜種、落花生、枇杷。茨城縣の小豆、蕎麥。埼玉縣の狭山茶。栃木縣の大
麻、干瓢。群馬縣の栗、稗。神奈川縣の葉煙草、蜜柑、梅等の農産物がある。
- (2)、東京府下に於ける各種工業の著名なるものは、毛織物業、綿絲紡績業、製糖業、時計製造業、洋紙製造
業、工業用藥品製造業、製革業、麥酒釀造業、肥料製造業等である。

(注意)

(イ)、新地理書はどこまでも地理教授を有機的に取扱ふべく工夫してゐることの歴然たるものがある。従來の
教科書が單に事實を羅列するに止めたに反して、農業、工業といふ項目の下に「桑の栽培に適してゐる土地で
養蠶業が盛で、絹織業が起つてくる、従つて商業も盛である」といふ風の説き方がそれである。

(ロ)、十六頁に出てゐる米の産額及び麥の産額は其の概數を是非暗記せしむべきである。幸にして米の産額は
我が國人口の概數を聯想せしめて記憶せしめるを便利とする。

B 鑛業

本地方に於ける主要なる鑛産物は、日立、足尾の銅、金銀を第一とし、常磐炭田か

ら産出する石炭も亦多額である。

【日立鑛山】 約五百年前に發見されたもので、只今は有名な鑛山王久原氏の經營に
係るものである。年産額を見るに

金	五七〇貫	(日本第二位)
銀	一一三〇〇貫	(日本第一位)
銅	二〇〇〇萬斤	(日本第三位)

そして銅の二割は砲兵工廠、造幣局等に送つて國內の需要にあて、残りの大部分は
英、佛、伊、支那等の諸國に輸出せられてゐる。

【足尾銅山】 この銅山は、慶長十五年の發見によるもので、爾來、徳川幕府直轄の
地として、代官の支配の下に採掘に従事し、江戸城を初めとし、日光、芝、上野等の
諸廟の建築に要した銅は、全部この銅山より産出したものだといはれてゐる。今は古
河氏の經營に屬してゐる。現在この銅山の仕事に従事してゐる鑛夫の數は男が一萬一
千人、女が八百五十人、計一萬二千人内外の多數に上つてゐる。

大正十年の調査によると銅の産出高は二千百五十萬斤となつてゐる。

【常磐炭田】この炭田は所々で石炭が採掘され、關東地方から遠く奥羽地方までつゞいてゐる。大正十年の調によると、福島縣の入山は、三六一八八八佛噸の産額を示してゐる。將來頗る有望な炭田である。

(備考)

(イ)、以上の外石材として、相模の根府川石(安山岩)千葉の房州石(凝灰質砂岩)武藏の石灰岩、下野の野州石(凝灰岩)等があつて、關東地方各地の需要にあてられてゐる。

(注意)

(イ)、銅の産出高は内地の需要を充して餘りは少いのであるが、質がよいといふので外國へ輸出し、不足の分は外國から更に輸入されることがある。

(ロ)、鑛業は單に鑛石が埋藏されてゐるからといつてすぐ工事に着手することはない。探掘して、資本及び勞力を投じて尙經濟的に有利であるかを見なければならぬ、それには全體の分量は勿論、鑛石に含有する割合の多少、交通の便不便、原動力の供給等が其の主なる條件と考へられなければならない。

(ハ)、十八頁「日高鑛山の製鍊所」の挿繪を十分に觀察せしめ、其の製鍊の概念を明にしなければならぬ。詳しく

いことは附録挿繪の説明、御参照ありたし。

C 水産業

この地方は、東と南とが海に面してゐて、海流の影響をうけてゐる上に、人口稠密なる關東平野の大消費地を控へてゐるので、自然に水産業が発達してきたのである。水産物の主なるものは、鰯、鯉、鮪、鱒、秋刀魚等であつて、一年の産額は實に一千四百萬圓を越え、北海道、長崎縣、山口縣につぐ産出で我が國第四位を占めてゐる。中でも最も盛な土地は九十九里濱で、其の漁船の集る所は銚子港である。

又本地方の水産物中特筆すべきは、東京灣内で盛に採取せらるゝ海苔である、昔は今の淺草方面(昔は海であつたといふ)で採取したといふ所から其の名を得てゐるといはれてゐる。今日では大森海岸の外、千葉縣の海岸にも産し、年産額二百三十五萬圓に達して、全國産出高の約七割をしめてゐる。

四、交通

A 陸上の交通

【東海道線】 東京驛——静岡——京都——大阪——神戸間の鐵道で、延長三七三、五哩。普通列車ならば十八時間かゝるが、特別急行列車にのると十二時間を要する。狭軌の鐵道として設備の整つてゐることは世界第一と稱せられてゐる。

【東北線】 上野——大宮——福島——仙臺——青森。四五七哩の延長を有し、十七時間を費して達せられる。

【常磐線】 上野驛——日暮里——水戸——岩沼。延長二一四哩。

【總武線】 兩國——銚子。七二、七哩。

【高崎線】 大宮——高崎。四六、四哩。

【信越線】 高崎——新潟。二〇三、六哩。

【兩毛線】 高崎——前橋——小山。五七、一哩。

【東武線】 淺草——伊勢崎。七〇、三哩。

【日光線】 宇都宮——日光。三一、三哩。

【房總線】 千葉——勝浦。四四、三哩。

【北條線】 千葉——北條——南三原、六六、五哩。

(備考)

(1)、東京停車場挿繪の説明に附録參照。東京驛は七年間の日數と三百萬圓の費用とによつて、大正三年に出来上つた東洋第一の大停車場である。本館の長さが百八十四間、幅は最も廣いところが二十二間あつて、敷地の總面積は六萬六千坪に達するといふ。今上野驛との連絡工事を急いでゐるから、之が完成の曉には、東海道線と、東北線の連絡が出来ることになる。

(2)、碓氷峠は、信越線の、横川、輕井澤兩驛の間にある峠で、海拔一千米もある。この地の汽車は傾斜が急であるために、所謂アプト式と稱して鋸齒狀の三條のラックレールを鐵路の中央に裝置してある、そして、機車の底部の中央に附けてある一つの齒車と噛み合つて、滑り落ちるのを防ぐやうに出来てゐる。何しろ延長一萬四千六百二十八呎もある二十有餘のトンネルを通過せねばならぬので、煙のために苦しめらるゝことが著しいところから、最近電氣機關車を使用するやうになつた。

(3)、電車は東京市内だけでも一八〇哩もあるといはれてゐるし、その他、京濱電車、京成電車、京王電車、玉川電車、王子電車、成田電車など、縦横自在に發達してゐる。

(4)、自動車も前にも述べた通り、通路と自動車とは交通上重大な位置を占めるものである。

(注意)

(イ)、鐵道には、廣軌と狹軌とがあつて、南滿洲鐵道は前者であるが、内地の鐵道は、東海道線ですら始め狹軌にしてしまつたので、百年の計をあやまつたといはれてゐる。廣軌は幅が四呎六吋であるが、狹軌は三呎六吋であり、其の費用は、狹軌一に對して、廣軌一と二分の一倍となるに拘らず其の輸送力は約三倍ある。(ロ)、交通についての研究には、是非とも旅行案内を使用せしめることが必要である。又停車場附近の人は停車場の「時刻表」などをもらひうけ、哩數、賃金等を見るに、十分の活用が出来る程度まで親しませるといふことは、實に大切なことである、かくしてこそ始めて、地理の學習が生きてくるのである。

B 海上の交通

航路は横濱を中心として、内地の沿岸は勿論、遠く諸外國に通ずるものが少くない外國航路としては、歐洲航路、北米航路、南米航路、濠洲航路等は其の主なるものである。

歐洲航路は、横濱を基點として、神戸、門司、香港、シンガポール、ビナン、コロンボ、スエズ、ポートサイド、マルセイユ、ロンドン、ハンブルグに至る。航程一萬

二千餘哩、六十日餘を要する。

北米航路は、横濱を基點として、ホノル、桑港、ロスアンゼルス、サルナクルス、パナマ、カイヤオ、モイエンド、アリカ、イキーク、ヴァルバライソに至るもの。及び南アフリカのケープタウンを経てブエノスアイレスに至るものがある。前者は航程一萬哩、後者は一萬四千五百哩ある。

濠洲航路は、横濱を基點として、四日市、神戸、長崎、香港、マニラ、ザンボアンガ、木曜島、タウンズビル、ブリスベン、シドニー、メルボルンに至る、航程約五千哩、三十八日を要する。

C 通信

郵便、電信、及び電話は、何れも東京を中心として、各地に通じてゐる。

電信は全國の到るところに通ずる線が東京市に集つてゐるし、電話も又東京市内及び東京市附近は勿論、遠く京阪地方との間に於ける長距離電話も有効に使用することが出来る。

海底電線は、小笠原諸島の父島で連絡してアメリカ合衆國にまで通じてゐる。無線電信は船橋、銚子等と太平洋中を航海してゐる汽船との間には通信が行はれてゐるが、遙かに對岸の米國との間には未だ完全なる通信をなすことは出来ない。

(注意)

地理書には、交通を廣義に解して、通信までも交通の中に加へてあるが、狹義に之を解する時は通信は交通の中に包含されてゐないのが普通の見方である。

五、都 邑

【東京】 東京市は、隅田川の下流に跨り、東京灣に臨んでゐる。面積が約五方里、人口が約二百二十萬、東洋第一の大都會であることはいふまでもない、世界中で第六位にある。市街は大體に於て、山ノ手と下町とに區別することが出来る。山ノ手は住宅地として勤め人の邸が多く、下町は商業地帯である。この地はいふまでもなく徳川時代の江戸の地であつて、明治天皇の御遷都以來東京として、政治、學術、商業等の中心をなしてゐる。現在は十五區、千四百六十六町から成立してゐる。嘗つて、古人

が武藏野は月の入るべき山もなし

草より出で、草に入るなり。

と詠じた武藏野が、現在の發達を來すまでには、發達すべき理由の存することは明かである。今其の理由を検するに

第一。位置がよい。——後に關東平野を控へ、前に東京灣を控へてゐる。

第二。徳川幕府の所在地であつた。——徳川三百年の間幕府をここに置いたため政治の中心地であつた。幕府の最も盛であつた寛政の頃には人口百五十萬もあつたと記されてゐる。

第三。我國の首府である。——即ち首府であるから、宮城を始め、内閣、樞密院、貴族院、衆議院、内務、外務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、鐵道の各省、大審院、行政裁判所、警視廳、會計検査院、宮内省、其他各國の大使館公使館等の建物が聳えてゐる。

第四。學術の中心地である。——學術の中心地であるが故に、全國から多數の學生

が集つて、下宿屋を繁昌せしめ、書籍店乃至文房具店を賑かならしめ、そして市街の人口をまし、繁昌の一因をなすのである。

學校の主なるものは、東京帝國大學、東京商科大學の官立大學を始めとし、早稻田慶應、明治、專修、法政、日本等の各私立大學がある。

加之、専門教育の機關としては、東京高等師範學校、女子高等師範學校、東京高等工業學校、東京音樂學校、美術學校を初め、第一高等學校、東京高等學校、學習院等がある。

其の他、百有餘の男女中等學校及び女子中等學校がある。

此の他、東京帝室博物館、附屬動物園（東京市の經營に移管）植物園、天文臺、中央氣象臺等の學術研究の機關がある。

第五。經濟上の中心。——吾が國從來の經濟上の中心は大阪であるといはれてゐた、所が大阪は政治の中心を遠ざかつてゐる關係から、經濟の中心はだん／＼東京に移つて行く傾を生じた。

全國金融の中央機關たる日本銀行を初め、各種の銀行があり、商事の機關としては商業會議所、取引所、三井物産、日本郵船會社、東洋汽船會社等がある。又デパートメントストアの大なるものとしては、三越、白木、松坂屋等があつて賑かである。

第六。交通の中心であり、遊覽地である——上述の通り、陸上の交通は、汽車、電車自動車の便が完全に備はつてゐるし、春の飛鳥山、上野はいふに及ばず、明治天皇を奉祀する明治神宮を始め、靖國神社、高輪泉岳寺等四時參詣人の絶ゆることがない。

以上述べた事實が因となり果となつて、東京市は年々隆盛に赴いてゐるのである。勿論其の發達の原因はまだ／＼盡きる譯ではないが、以上述べたるものが其の主要なるものと見てよからう。

ところが大正十二年九月一日十一時五十八分に起つたあの大地震のために、大火災を起し、市の過半は焼失してしまつた、ことに下町の目ぬきの場所は殆ど灰に化してしまつて、昔の面影は更になく、裏道は今尚焼野原の形を呈してゐるが、市民は固より、政府は復興局まで設けて一生懸命に盡力してゐるから、遠からずして舊市街に優

る新市街の建設さるゝことは明かなことであるが、個人の利害に至大な影響を及ぼすので復興事業にも幾多の難關が横はつてゐるやうである。

【横濱】横濱は只今から六十年前までは非常に寂しい一漁村であつたが、今や面積二、四万里人口四十萬を越え、在留外人八千を算する大都會となつた。我が國第一の貿易港で、我が國輸出入額の約半分はこの港で取引されてゐる。

今大正十一年中に於ける本港の輸出入額を示すと次の通りである（便宜上、神戸、大阪、長崎の分とを比較すれば）。

港名	輸出	輸入
横濱	八億九五四六三 <small>(千圓)</small>	六五二一五四 <small>(千圓)</small>
神戸	二億七九八二一	八五六三五六
大阪	三三二七七七四	一二八七九三
長崎	一四六一七	二一一一六

即ち、横濱は大正十一年中に於ける輸出入總額が、一五億七六一七千圓となり、神

戸は一億三六一七千圓となり、大阪は、四億五一五六七千圓となり、長崎は、三億五七十三萬三千圓となつてゐる。

而して、横濱港より輸出される主要なる品は、生絲、羽二重、銅、茶、縮緬等であり、輸入される品は、鐵、綿、砂糖、豆粕、石油等である。

【千葉】縣廳の所在地として縣の中心地である。人口は三萬三千人あつて、千葉醫科大學、鐵道聯隊等がある。

【浦和町】埼玉縣の縣廳の所在地で、浦和高等學校が新設されて以來、だん／＼繁昌してくるが、人口は僅かに一萬二千人で盛な町ではない。

【宇都宮市】人口六萬四千である。本市の發展は戸田氏七萬石の城下であつたことが歴史的に之を形成したもので、今日では縣の中心として縣廳が置かれたり、第十四師團司令部が置かれたりしてあるので軍事上からも其の發展を促してゐるのである。

【水戸市】水戸は徳川時代には親藩として其の城下であつたがために非常に名高い町であつたが、今日は地理的位置が有利でないために、あまり盛な町でもない。有名

なる常盤公園があり、又縣の行政上の中心として茨城縣廳があつたり、最近水戸高等學校が設けられたりしたのでだん／＼賑つてきた。人口は約四萬。

【横須賀】横須賀は、横濱を距る南方海上十二哩の地にあつて、我が國の第一海軍區の軍港で、人口は九萬である。之は全く軍港の町であつて、海兵團、海軍機關學校、海軍工廠、海軍鎮守府司令部等がある。其の工廠には約二萬の職工がゐて艦船の建造に従事してゐるし、又町の一部は之等軍人、軍屬、職工などの住宅で満たされてゐる。

【高崎】高崎は、兩毛、信越、高崎、上野四線の分岐點に位して交通の中心地をなし、人口三萬七千に及んで商業都市である。

【野田】僅かに人口は一萬二千しかない小郡邑であるが、見渡す限り醤油醸造用の大煙突と大倉庫が立ち並んでゐて、全く醤油の町である。其の出來た醤油は内地は勿論、遠く支那、米國、ハワイまでも輸出せらるゝのである。

【所澤】所澤は明治四十四年に陸軍航空場が設けられてから出來た町で、今日では

人口が一萬許りある。其の航空場の面積は二十二萬坪あるといはれてゐる。東京から汽車で行くと、一時間半を要するので、澤山の見學團や、見物人が四時絶えない。

【鎌倉】この地は七百餘年前我が國政治の中心地であつたことは、人のよく知る所である。當時は人口二十萬もあつたといはれ、當時の繁昌をしのばせる鶴岡八幡、鎌倉宮、建長寺、圓覺寺、長谷觀音、大佛等の史蹟が各處に多い。だから、今日遊覽者の爲めに成立した町の様にも解せらるゝが、東京の近くにある保養地として別荘地域として成立してゐる町であつて、人口が一萬八千人ある。豆子、大磯、國分津、葉山などと共に、夏季になると避暑の客で非常に賑かである。

（備考）

（1）、大正二年から、大正十二年までの我國の輸出入額を示せば、次の通りである。

（年次）	（輸出）	（輸入）	（計）
一	（百萬圓）	（百萬圓）	（百萬圓）
二	六三三二	七二九九	一三三六一
三	五九一	五九五	一一八六

四	七〇八	五三二	一二四〇
五	一一二七	七五六	一八八三
六	一六〇二	一〇三五	二六三八
七	一九六二	一六六八	三六三〇
八	二〇九八	二一七三	四二七二
九	一九四八	二三三六	四二八四
十	一二五二	一六一四	二八六六
十一	一六三七	一八八九	三五二六
十二	一四四八	一九八七	三四三五

次に、横濱港によつて貿易の行はるゝ國は、アメリカ合衆國、フランス、イギリス、伊太利、支那等である。横濱市が僅か六十年間の短日月の間に、かやうな大都會になつたといふことは、寧ろ不思議な現象と見られる程である。今其の原因を考へるに

第一には港灣が完備してゐる。

本來、横濱は自然の良港である上に、人工的にも充分なる設備を施してあつて、港灣が完備してゐるといふことは何といつても、今日の横濱をなした主なる原因であると思はなければならぬ。即ち港の區域は本牧岬と鶴

見河口とを連絡してゐる一直線以内の水面であつて、南北四哩、東西二哩半に及んでゐる。又水が深く、海岸附近でも、二尋から四尋ぐらゐで、沖に進むに従つて次第に深さを増して、五尋から九尋ぐらゐまでの深さである。

第二は帝都の入口にあつてゐる。

東京を距ること南方八里の所にあつて、汽車や電車に乗ると僅かに一時間足らずで到着することが出来る。殊に三百萬人の口を有する大消費地たるべき東京が、大汽船を入れるだけの港灣を有しないので、勢東京の門戸となる譯である。

第三は、後方に關東平野を控へてゐること。

此の平野は非常なる生産力を有することは前述の通りであるが、従つて大消費力をも有するといふことは重大な意味をなすものである。

第四は、遂かにアメリカ合衆國が對岸にある。

我が國輸出品の白眉である生絲の八割五分は、北米合衆國に送るのであることを知れば如何に横濱が開港場として、重大な位置にあるかは察せられるだらう。近代になつて新開地たる南米諸邦が日本と交易する上から其の位置の關係を見ても亦この港が最も有利な場所であることは喋々を要しないであらう。其の他にも多少の理由はあるが以上が其の主なるものであらう。

次に横濱も亦、東京と等しく、正十二年九月一日の大地震のために市の大部分は破壊され、ついで起つた大火事のために、目も當てられない被害を蒙つたが、鋭意復興に努めてゐる昨今の状態では、日ならずして舊態に復すべきはいふまでもないことである。

(2)、銚子町。利根川の河口に沿うてゐる都會で人口三萬と稱せられてゐる。港口に暗礁があるために、大きな船の出入は出来ないが、醤油、鯨節等を東京地方に盛に送り出してゐる。

(3)、船橋町。人口は一萬五千人しかないが、海軍省直轄の無線電信局が設けられてあるので有名である。

(4)、桐生町。有名なる機業地として絹織物の産出が夥しく、人口七萬三千人に達してゐる、この地に出来た羽二重。縮緬等は遠く、米國印度等に送り出し、品質がよいのもてはやされてゐる。

(5)、日光町、五年及六年の讀本參照。

(注意)

(イ)、二十六頁の横濱は國內で一二を争ふ「開港場」といふ言葉と、二十八頁の横須賀「軍港」といふ觀念を明にしてをかねばならぬ。

(ロ)、都會の發達すべき要素は、各種の要素をもつてゐる東京と、横濱、横須賀の如く短日月の間に大都會となつた所と、水戸の如く歴史の都會でありながら發展の遅い都市などを比較させその理を十分に究めしめて

なくことが必要である。埼玉縣や、千葉縣あたりに大都會が發達しない理由は自ら、兒童が推究して發見することが出来るものと思はれる。

(ハ)、港の要件として、防波堤、棧橋、繫船岸などは繪畫等を使用して十分に具體的に提供してなく必要がある。

六、伊豆七島、小笠原諸島

【伊豆七島】 伊豆半島の東南海中にある諸島であつて、北緯三十四度五十分から同三十三度十分に至る、約四十里の間に散在してゐる大島、利島、新島、神津島、三宅島、御藏島、それに八丈島を合せた七島と之に屬する小島まで、面積が約十二方里、人口が二萬七千人ある。之等の島々は富士火山脈中の火山が海中で噴起して現出したものであると見られてゐる。富士火山脈は之から更に延びて、小笠原諸島から、南洋のマリアナ群島に連つてゐる。

其の中大島は東西二里半、南北五里、面積四方里もある島で、一寸風俗も關東地方のそれとは異なり、男よりも女が主として、家業のための勞働をしてゐるさうである

八丈島は、東京を距る百四十餘里もあつて、昔罪人が島流しにされた場所として有名であるが伊豆七島中の最南端にあつて、面積が四万里、人口が九千人ある。

【小笠原諸島】 小笠原諸島は、小笠原群島、硫黄列島、南鳥島等の總稱である。この諸島は、北緯二十四度十四分より、同三十度二分の間に亘つて散在する大小の島九十七の多きに及び、面積は之等を合して僅かに六万里、人口は總計六千人しかないが我が國土の南部の土地として昔から人の目をひいてゐるのである。この諸島は、三百餘年前、信濃の國深志の城主小笠原貞頼の發見にかゝるので、其の苗字を取つて島の名としたと言ひ傳へられてゐる。而して現在は、住民は多く農業及び漁業を營んで、農産物には甘藷、甘蔗等を産してゐる。氣候は熱帶圈内に屬してゐるから、熱くなければならぬ譯であるが、海洋性の氣候であるから、夏のあつい時でも九十度を限度とし、冬は五十度を降ることが稀で、霜や雪を見ることはないのである。

次に、父島にある二見港は、港の内が深い上に、山が三方をとりまいてゐるので自然に良港をなしてゐる。こゝは寄港地として最も大切なところであるが、又同時に太

平洋海底電信の中繼所として知られてゐる所である。

(注意)

- (イ)、緯度及び暖流と氣温。海洋性の氣候と緯度との關係を考究せしむる必要がある。
- (ロ)、遠く南に國土の延びてゐるといふことは、産業上よりも寧ろ交通上、軍事上重大な意義のあることを了解せしむべきである。

復習指導

- (一)、關東地方の略圖に府縣分けと、府縣廳の所在地とを記入なさい。
- (二)、教科書の九頁の地勢略圖を參考して關東地方の地勢圖をお書きなさい。
- (三)、下記は如何な所か。(イ)鹽原 (ロ)箱根 (ハ)日光
- (四)、利根川がこの地方の人に與へる利益について述べなさい。
- (五)、一般に川は我々人類にどんな利益と不利益とを與へますが。
- (六)、關東地方の農業について問ふ。
- (七)、關東地方の工業分布圖をお作りなさい(産物は字で表しても圖で表はしてもよい)
- (八)、關東地方の鐵産物の分布圖をお作りなさい。

(九)、關東地方の水産業について問ふ。

(一〇)、關東地方の交通圖をお作りなさい。

(一一)、東京驛から鎌倉まで何時間で行けますか。又何哩ありますか。(わからないのは、汽車の時刻表を見て答へなさい)

(一二)、東京市を中心にして出来てゐる主要な鐵道線路をあげなさい。

(一三)、東京市が現在のやうに發展した原因を考へなさい。

(一四)、横濱市が現在の隆盛を致した理由はどこにあるでせうか。

(一五)、横濱港の輸出入品について問ふ。

(一六)、下について問ふ—(イ)野田 (ロ)銚子 (ハ)所澤 (ニ)木戸 (ホ)父島 (ヘ)三原山

第三、奥羽地方

豫習指導

(一)、奥羽地方の地圖を半紙一枚にかいて、其の縣名、縣廳所在地、山脈、川、半島、平野、火山脈、火山等を記入なさい。(二)、三十頁「奥羽地方の斷面の略圖」と、三十一頁の「奥羽地方の地勢圖」とを比べて、疑問があつたら先生に質問して下さい。(三)、三十一頁「奥羽地方の地勢の略圖」の中に10²⁰里といふ符號が出てゐる。之を使つて北上川の川の長さを測つて御覽なさい。(四)、地圖と比べながら一區域、二、地勢をよく讀んで、もしよく分らないことがあつたら質問して下さい。(五)、この地方は關東地方と比べるとなぜ産業が振はないでせうか。其の主なる理由を書きぬいて下さい。(六)、奥羽地方で最も盛な産業は何でせう、そしてなぜ、それが盛なのでせうか。(七)、三十二頁「山形と月山」の繪をよく御覽なさい。(八)、盤梯山と猪苗代湖の挿繪を御覽なさい。(九)、盤梯山について、くはしい參考書を見てしらべられるだけしらべてノートに書きぬきなさい、そして次の地理の時間にそれを發表して戴きます。(十)、三十六頁「松島灣の一部分」の繪を御覽なさい。そしてこの地の繪葉書をもつてゐる方は學校へもつて行つて、先生にも貸して下さい。(十一)、

リンゴはどこなとろに生長する果實ですか、三十九頁の「リンゴの採集」をよく御覽なさい。
 (二二)、四十頁「白河附近の一牧場」と四十一頁の「能代港にある製材所」の繪を御覽なさい。(二三)、四十
 一頁に「大正九年度馬の産額の比較」が出てゐますが、之にならつて、大正十年及十一年の比較表を、ボー
 紙一枚に書き上げて下さい。國民年鑑を見ると分ります。(二四)、四十二頁「小坂鐵山」、四十三頁「秋田附近
 の油井」の繪を御覽なさい。(二五)、四十五頁の「奥羽山脈を横ぎる奥羽線の一部」、四十六頁「青森港と連
 絡船」四十七頁「函館港と連絡船」、四十八頁「雪よげトンネル」、四十九頁「原町無線電信局」等の繪をよく御
 覽なさい。(十六)、東京から、東北線を経て青森までの汽車賃はいくらか、るか(二三等)を旅行案内でしらべ
 なさい。(一七)、日本海方面と太平洋方面とを比べると交通はどうですか、又氣候は。(一八)、日本海方面はな
 ぜ雪が深いのでせうか。(一九)、この地方の都邑について、しらべられるだけしらべて下さい。

教材解説

一、區域 (位置)

奥羽地方といふのは、福島、宮城、岩手、青森、秋田、山形の六縣の總稱である。
 この地方は本州の最北部を占め、北は津輕海峽を隔て、北海道本島に相對し、南は

關東地方及び本州中部地方につき、東は太平洋、西は日本海に面してゐる。

其の廣さは東西五十里、南北百三十五里、面積は四千二百四十七方里あつて、關東
 地方の二倍以上もあるが、人文が未だ開けず、人口は僅かに五百八十萬しかない。之
 を關東地方の人口に比べると其の半數にも達しない。

(備考)

(一)この地方の面積を縣別にあらはせば左の通りである。

岩手縣(九八八方里、全國第一位)
 福島縣(八九〇方里、同 二位)
 秋田縣(七六〇方里、同 五位)
 青森縣(六二四方里、同 七位)
 山形縣(六〇三方里、同 八位)
 宮城縣(四七二方里、同 十五位)

(二)、奥羽地方が文化の進歩に後れたる理由。

a、位置の僻遠なること。

- b、山岳相重つてゐるために、交通が非常に不便である。
- c、氣温が比較的低いこと。
- d、文化の中心地と遠ざかつてゐること。

二、地 勢

A 山

【中央部】 奥羽山脈が南北に縦に走つてゐて、之に並行して那須火山脈がある。那須火山脈は、我が國三大火山の一であつて、那須山（一九一二米）を始めとし、吾妻山（一九四九米）磐梯山（一八一八米）岩手山（二〇七〇米）八甲田山（一八五二米）等が其の間に聳えてゐる。

【東部】 この地方の東部には、北上、阿武隈の二山脈が、略々南北の方向に走つて仙臺灣で中斷されてゐる。

阿武隈山脈は、北方阿武隈川の河口附近に起つて、南方茨城縣の久慈川に達し其の

延長約三十八里である。

北上山脈も亦北は馬淵川の河口近くに起つて、南は牡鹿半島の南端で盡きてゐる。其の最高峯の早地峯山は二千米に達してゐて阿武隈山脈に比べると高峻である。

【西部】 西部には、脊梁山脈に並行して、出羽丘陵及び越後山脈が相連つてゐる。出羽丘陵は、青森縣の北部に起つて、秋田縣の中央を斷續し、山形縣の北部が越後山脈と結ぶまで、一般に丘陵地帯をなしてゐる。鳥海火山脈は、出羽丘陵と並行して長くつゞいてゐるが、山容秀麗な鳥海山（二一二三米）を始めとし、岩木山（一五八八米）羽黒山（三六五米）月山（一九五〇米）及び湯殿山等がある。

越後山脈は、最上川の南に起つて、中部地方との境界を南北に走つてゐる。出羽丘陵に比べると山脈は頗る雄大である。而して、この山脈のために、羽越の交通を非常に困難にしてゐる。

B 川、平 地（湖沼）

奥羽地方の河流は、中央の分水嶺によつて太平洋と、日本海とに注いでゐる。主なる川をあぐれば、

岩木川	二三里
阿武隈川	五〇里
北上川	六二里
米代川	三五里
雄物川	三八里
最上川	五五里

【北上川】北上川は、岩手縣の北境にある七時雨山の麓に源を發し、南流して石巻に至つて仙臺灣に注いでゐる。川蒸汽船が石巻から、岩手縣の一關まで上下することが出来るので交通上非常な便宜を與へてゐる。

【阿武隈川】阿武隈川は源を那須火山の東に發す。この川の流域は福島縣の重要な生産區域をなしてゐる。

【米代川】米代川は一名能代川ともいつて、源を奥羽山脈中の四角岳に發して西流し、能代港の北で海に入つてゐる。上流地方に産する材木を能代の製材所に送るにはこの川によるのである。

【最上川】最上川は源を遠く越後山脈の大日岳に發し、北流して、米澤、山形の盆地をすぎ、更に新庄の盆地を通つて庄内平野に出で酒田港に至つて日本海に注いでゐる。昔から、富士川、球磨川と並んで日本三急流の一つに數へられてゐる。

【阿賀川】阿賀川は源を猪苗代湖に發し、越後山脈を横ぎつて、新潟縣に出で日本海に注いでゐる。河口まで全長四十三里ある。そして、猪苗代湖から會津盆地に出づるまでの間に於て發電所が所々に設けられてある。

平野は之等諸川の流域に生じ仙臺平野の如きは其の最も大なるものといふべきである。

次に湖沼の主要なるものをあぐれば次の通りである。

【猪苗代湖】猪苗代湖は福島縣の中央部にある大湖で周圍が十六里、面積が七方里

ある。猪苗代湖の水が、發電に利用されてゐることは既にのべたが、疎水運河によつて灌漑にも利用せられてゐる。

【十和田湖】 十和田湖は青森縣と秋田縣との境、海拔四百米の高地にある湖で、水深三七八米に及び田澤湖に次ぐ我が國第二の深湖である。近時になつて鱒の養殖が盛に行はれてゐる。

【八郎潟】 八郎潟の成因を見るに、雄物川と、米代川とによつて、上流から運搬された土砂が、風や波の爲めに砂丘を生じ男鹿の火山岩地と相連つて、外海と離れ、今日のやうな状態となつたのである。風景が美しい點で有名である。

【田澤湖】 田澤湖は秋田縣にある湖で、周圍は僅かに五里にすぎぬが、深いことは我が國第一といはれてゐる。その最深部は四一四米に達する。

○ 海岸

【東海岸】 太平洋沿岸は中央部に牡鹿半島が突出して仙臺灣をつくつてゐる外は、

只岩手縣の東海岸に鋸状の小出入がある許りで其の他は一般に出入が少い。

仙臺灣中にある松島灣には、大小無數の島が散在してゐて景色が極めてよい。昔から、天ノ橋立、嚴島と共に日本三景の一として數へられてゐる。同灣中には鹽竈の良港がある。

岸手縣の沿岸は所謂リア式の海岸で小出入が夥しくあるが、灣と灣との間は北上山脈中にある山岳が、海岸に迫つてゐるので、生産地たる内地との交通が不可能であり、あたりに住家を建てることすら困難であるからして商港として成立し能はぬことは自ら明かである。只漁船の出入する港として、或は避難港としては比較的利用される場合がある譯だ。

【西海岸】 西海岸も僅かに男鹿半島が突出して八郎潟を抱いて、そこが灣入してゐるのみで、他は極めて單調な砂濱がつゞいてゐる。

【北海岸】 北部は、津輕、下北の二半島が突出して、陸奥灣をつくつてゐる。
(備考)

(1)、沿岸の海の深さを見るに、太平洋は海岸から三十海里も出ると、百尋の深さに達し、次第に深度を加へて遂には日本海溝の深海に連つてゐる。又日本海方面に於ても十海里も海岸をはなれると百尋もある。

(2)、本州と北海道との間に横たはつてゐる海峡は津輕海峡といつて、一番深いところは二百八十五尋もある。この海峡はただ地形上兩地の境畫線たるのみならず、其の南北に於て生物の分布が著しく違つてゐる。特に生物學上ブラツキストン線として知られてゐる。我が帝國の國防上から見ても、日本海と太平洋との重要な連絡點に位するので特に下北半島の大湊には第一海軍區の要港部を設けて極めて嚴重に防備してゐる。

(注意)

(イ)、この地方の學習指導に際しては、關東地方の地勢と比較せしむることは大切なことである。

(ロ)、軍港と要港との區別、軍港には、鎮守府が設けてあつて、海軍の根據地として極めて設備の完備せらるゝのであつて、要港は軍港程の設備がないものといつてよい。而して我が國の要港は、大湊の外に、臺灣澎湖島の馬公、關東州の旅順及び朝鮮の鎮海の四箇所に設置されてゐる。

三、産業

A 農業、工業

この地方は山が多いから耕地が少く、其の上氣温が一般に低いから農業は發達してゐない、尙其の發達せざる理由を詳にすれば次の通りである。

(イ)、氣温が低い、即ち、福島縣以南の地方を除くと、一年中で零度以下に下ることが百日以上に達してゐる。従つて作物の生育は不充分である。

(ロ)、南日本との交通が比較的遅れたために、文化の影響をうけることが後れた。

(ハ)、この地方には山脈が多く耕地面積が少いこと、即ち耕地は全面積の一割三分しかない。

(ニ)、人口稀薄なること等である。

今農産物の主要なるものをあげれば次の通りである。

【米】

山形縣	一八七萬石
秋田縣	一六八萬石
宮城縣	一五八萬石

第三 奥羽地方

福島縣	一五五萬石
青森縣	一〇〇萬石
岩手縣	九六萬石

各縣の產出高は右のやうである。然しこの地方の米は一般に品質の劣つてゐることは免れない。

【大豆】大豆の年産額は百萬石に近く、内地全産額の二割五分に達してゐる。就中岩手縣は年産額三十四萬石に上り、北海道に次いで全國第二位を占めてゐる。

其の他の部分を示せば、

福島縣	二十一萬石
宮城縣	十四萬石
青森縣	十三萬石

【馬鈴薯】馬鈴薯は其の性質上一般に寒地に適し、又割合に瘠地にも出来るためにこの地方には特に多い。内地の大都會や、南洋のマニラ其他の地方へ輸出される。其の産額は次の通りである。

青森縣	一千五百萬貫（日本第二）
福島縣	一千百萬貫（日本第三）
宮城縣	一千萬貫（日本第四）

【りんご】奥羽地方のリンゴは全國的に有名である。即ち産額の多いことに於ても品質の優良なことに於ても。今其の産額を示せば次の通りである。

青森縣	三百萬貫（日本第一）
秋田縣	四十萬貫（日本第三）
山形縣	二十七萬貫（日本第四）

【養蠶】此の地方の養蠶業は近年になつて著しく發達したもので、就中福島、山形の兩縣は最も盛であつて、福島縣の如きは年總額二十四萬石、其の價額一千五百萬圓を超えてゐる。山形縣は最上川流域に盛に行はれてゐて繭の年額二十萬石、價額一千三百萬圓に達し、米澤市の絹織物として産出する。

【絹織物業】福島縣川俣の羽二重。山形縣の米澤織。秋田縣の八丈絹。宮城縣の仙

臺平。岩手縣の南部縮緬等は夙に世に知られてゐる絹織物である。

就中、米澤織は、徳川時代の有名なる上杉鷹山が専ら心を殖産のことに傾け、國産の隆盛を企圖した結果である。

【電氣工業】 猪苗代湖の排水口である日橋川の水を利用し、發電所が設けられて工場に動力を供給してゐる。

日本化學工業會社の會津工場は、海藻からマツチの原料たる鹽酸加里及びヨードを製造することに従事してゐる。此の外に東京の高田商會も亞鉛合金の仕事に従事してゐる。是等の電力の餘りは遠く東京市に送られて、電車の動力や、電燈に用ひられてゐることを思へば、如何に偉大なる規模であるかは想像にかたくない。

【其他の産物】 津輕燒、相馬燒、會津塗、津輕塗等がある。

B 牧畜

奥羽地方は山が多く、漑灌に可能な地域が狭いが、其の代り平原が多く、人口が割

合に少いので牧畜は自然に發達する譯である。ことに馬の飼養は昔から盛であつたが今日も尙我が國の馬の總頭數百五十萬に對して、二割五分の多きに達してゐる。

【南部馬】 南部地方は代々の藩主が馬の改良に意を注いだ結果、所謂南部馬を産するに至つたのである。然るに日露戰役後、從來の日本種は全然滅亡して、英國種其他外國馬の繁殖をはかつた結果、今日の馬は昔から所謂南部馬と稱せられたものではないが、馬の飼養は依然として盛で、飼養頭數は岩手縣の九萬頭、青森縣の五萬頭は其の數に於て少くはない。

【三春駒】 福島縣の三春附近を其の主産地とする良馬で、乘馬用として適してゐる其の中でも、會津、白河、相馬、二本松等には特に良馬を産する。

【仙臺馬】 仙臺馬は、伊達政宗が、種馬を外國に得て産馬の改良を計つたのに原因し、現在では軍馬用として重要視されてゐる。そして、盛岡や白河には、毎年秋に馬の大市が開かれて、各地から澤山の馬が集つてくる。

(備考)

全國の馬の主産地

全國總數	一五一萬二〇一二頭
北海道	一七九八二四頭
鹿兒島	九五六五三頭
熊本	九二七四一頭
岩手	八八四一九頭
宮城	七一六三六頭
秋田	六二五八三頭

(注意)

(イ)、牧畜は、人口の稠密な地方では、馬や牛を、放つ餘地がないので割合に發達しないものだ。ロシアの南部平原とか、オーストラリア、及びアルゼンチンなどの牧場は色々理由もあるが、主なる理由としては、大平原があるといふことに歸着する。北海道や、奥羽地方に發達して、關東地方に割合に發達してゐないのは其れがためである。

C 林業

奥羽地方の林業は、秋田縣と、青森縣とが最も盛である。

【秋田縣】 米代川流域に美しい杉の森林が三十方里にも亘つて繁つてゐる。樹齡は百二十年から二百年に及び、直径四尺高さ三十間に達し、其の總材積は二億三千萬石と稱せられてゐる。

【青森縣】 青森縣では約六十七萬町歩の面積は森林で其の大部分は國有林である。樹の種類を見るに、ヒバを第一とし、其の總材積は一億五千萬石、全部を一通り切り盡すには優に一百年を要するといふ。

(備考)

米代川流域には一帯に製材所が設けられてあつて、川と、鐵道とを利川して下流に送られ、米代河口の能代港には東洋第一の製材所が設けられてある。所が今日では、この方面の材木ばかりでは製材力に餘りがあるので遠く北海道や、シベリヤ方面の材木までもこの土地に運んで來て製材するやうになつた。そして、之を全國に

供給してゐる。

D 鑛業

【秋田縣】 本縣に於ける鑛物の産地は四十餘ヶ所の多きに達してゐるが、中にも有名なのは能代川の流域にある小坂、不老倉、尾去澤、花岡、八盛、阿仁、日三市^{ヒサイチ}等であつて、産額の總額は三千萬圓を超え、鑛山の多いことは本邦屈指の縣である。之等鑛産物中の主要なるものを擧ぐれば、

種類	産額	順位
金	一三〇貫	(本邦第四位)
銀	五八〇七貫	(本邦第三位)
銅	二二一七萬斤	第二位
鉛	一四四萬斤	第三位
研黃	一八四九佛噸	第五位
石油	八〇萬石	第二位

【岩手縣の鐵】 岩手縣に於ける鑛産の總額は現在二千萬圓餘りに達す。就中鐵は總額の約八割を占めてゐる。釜石鐵山は本邦第一の鐵山である許りでなく、我が國第一の金屬鑛山である。現在の産額は三七五六二佛噸である。釜石は昔はたいした町ではなかつたが、今日では人口二萬を超えて縣内第二の都會になつてゐる。

【福島縣の炭山】 盤城入山、内郷、勿來等の炭山は大々的に採掘事業が起つて、其の産出したものは多く東京市方面に輸送せられてゐる。年産額が三百萬佛噸、我が内地産額の約一割に達してゐて、福岡縣及び北海道に次いで全國第三位を占めてゐる。

【石油】 秋田縣の油田は、原油の産額の多いことでは、新潟縣の油田と一二を争つてゐるのであつて、主として、秋田と土崎港にある製油所で石油に精製されてゐる。

E 水産物

この地方は三面に海を繞してゐる上に寒暖二流の影響をうけて水産物が豊かである

特に太平洋方面に棲息せる魚貝は、其の種類が頗る多く、漁場としては實に我が國屈指の好適地であるが、まだ其の漁獲方法が發達してゐないために産額は割合に少い。今各縣の水産額を比較すると次のやうになる。

縣名	水産物の價額
福島縣	二三五萬圓
宮城縣	四二五萬圓
岩手縣	三一六萬圓
青森縣	四四七萬圓
秋田縣	一四六萬圓
山形縣	一九八萬圓

而して、漁獲高の多いのは、鰯、鯉、鯨である。就中、鯨の産額は内地ではこの地方が第一位である。

(注意)

(イ)、地理書四十四頁に内地といふ言葉がある。内地といふのは、本州、四國、九州、北海道本島を指すので

ある、其他の地方、樺太、朝鮮、臺灣、關東州等は内地ではないが、行政法上からは樺太は内地として取扱はれてゐる。

四、交通

A 陸上の交通

名稱	哩數	基點及終點
東北本線	四五七哩	上野—青森
奥羽線	三〇二哩	福島—青森
盤越線	一七二哩	平—新津

平から郡山までを盤越東線といひ、郡山から新津までを盤越西線といふ。

其他小牛田、新庄間の陸羽東線、新庄、余目間の陸羽西線がある。この兩者を併せて陸羽線といひ東西の交通を助けることが至大である。

又新津秋田間の羽越線も最近になつて貫通し本地方の鐵道もやゝ見るべきものがあ

る。而して此の羽越線は、奥羽線と、信越線との連絡を取つてゐる。

(注意)

(イ)、鐵道旅行案内の見方を指導してをけば、鐵道名、要する時間、賃金などは兒童の自由研究に任せしめて之を發表せしめる時間の工夫さへすれば、一々數量を彼等の前に提供する必要はない。

(ロ)、川に沿ふて主なる鐵道が発達してゐる譯も十分に考へさせる必要がある。

B 海上の交通

この地方の海上の交通が關東地方などに比べて不便であることはいふまでもないことである。

前に述べた如く、東海岸にあつては、石巻鹽竈等は早くから知られた良港であるけれども、文運の進歩に伴つて出來た今日の大汽船を碇泊せしめるにはあまりに水が淺すぎて、昔の良港は今日早や良港の名を失つてしまつた。又岩手縣沿岸の出入多き海岸も商港としては用をなさず、漁船の避難港たる觀を呈してゐる状態である。

日本海の方面では船川港、酒田、土崎、能代等の港があるが、多くは河口にあつて風波を凌ぐに不完全であり、加之、冬季は、西方から寒風が吹いて來て、海上は怒濤險惡であるから、交通は非常に不便である。

C 通信

盤城原町無線電信局は大正八年五月から、經費七十四萬圓の豫定で、相馬郡原町雲雀ヶ原東方に起工中であつたが、大正十年三月竣工して、同月二十六日から、一般に通信に利用された。無電は全部富岡無線局で取扱ひ、此處から有線で原町に信號し、原町では夫を獨得の装置によつて、大電力の働く無電信號機に擊と、空中線を通じて微妙な電報は遠方に達し、布哇へは六十六萬分の一秒で達するのである。

五、都 邑

【福島市】 人口三萬六千、東北本線に沿うてゐて奥羽線の分岐點である。又阿武隈

川に沿うてみて背後には廣大なる福島平野を有してゐる。附近には羽二重の産地である川俣を控へて、羽二重、生絲、蠶卵紙、穀物等の取引が盛である。徳川時代には板倉氏、三萬石の舊城地であつた。

【若松市】 會津盆地の中心に位し、人口三萬八千、本縣最大の都會で、四方に山岳をめぐらし、かつては、蒲生氏卿、上杉景勝、加藤嘉明等の豪傑が居城してゐた許りでなく、江戸幕府の時代には、保科氏が三十八萬石を領した土地であつた。今は會津燒、會津塗等を産する。

【仙臺市】 人口が十二萬、奥羽地方第一の大都會で、仙臺平野の中にある。縣廳は勿論、第二師團司令部、東北帝國大學、第二高等學校がある。伊達政宗六十二萬石の城下として、歴史上の都會であり、仙臺平を産する。

【石巻町】 仙臺市を去る東十三里の所にあつて人口が二萬二千ある。

【盛岡市】 人口四萬二千、東北本線の要路に當り、岩手縣の縣廳所在地で、古來馬市を以て有名である。高等農林學校は十年許り前までは只この地に一校しかなかつた。

南部氏二十萬石の城下であつて、平民總理として有名であつた故原敬氏はこの地に生れた人である。

【青森】 近年になつて非常に發展した町で奥羽地方第二の大都會であつて、人口が四萬九千ある。青森縣の縣廳所在地であつて、函館との間に連絡船の便利がある。

【弘前市】 人口が三萬三千人、津輕平野の中心地をなして、津輕米、リンゴの集散地である。かつては津輕氏十萬石の城下であつたが、現在は第八師團司令部の所在地である。

【秋田市】 秋田縣廳の所在地で人口三萬六千、百貨輻輳する。

【山形市】 人口が四萬八千あつて、かつては水野氏五萬石の城下である。

【米澤市】 人口四萬三千、米澤織の生産地である。

復習指導

(一)、奥羽地方の略圖に縣分けと、縣廳所在地とを記入なさい。

- (二)、教科書の三十一頁の地勢圖を參考にして、奥羽地方の地勢圖をお書きなさい。
- (三)、分水嶺とは何ですか。
- (四)、山脈と丘陵とはどちらがひまですか。
- (五)、海岸の出入は成るべく多い方がよいですが何故でせうか。
- (六)、奥羽地方の東海岸には割合に良灣があるにかゝらず、商港として發達しないのは何故ですか。
- (七)、軍港と要港とはどちらがひまですか。
- (八)、奥羽地方の産業圖をお作りなさい。(地圖に産物の名を字で記入してもよし、或は又繪で記入してもよい)
- (九)、青森縣の弘前附近で出來た林檎が東京へ出るまでには、どんな道を通りますか。
- (一〇)、奥羽地方の牧畜について述べなさい。
- (一一)、奥羽地方で製材業が最も盛に行はれるところはどこですか。
- (一二)、奥羽地方の鑛業について述べなさい。
- (一三)、奥羽地方の略圖に左の事項を記入なさい。
 - (イ)鐵道線路
 - (ロ)航路
 - (ハ)主要な港
- (一四)、連絡船とは何ですか。
- (一五)、原町、富岡の無線電信局に就いてのべなさい。

(一六)、次の事項についてしつてゐることを答へなさい。

- (イ)會津
- (ロ)青森
- (ハ)大湊
- (ニ)仙臺
- (ホ)白河
- (ヘ)弘前

第四、中部地方

豫習指導

(一)、五十二頁「中部地方の断面圖」をホーロ紙一枚に大きく書いて色をぬつて下さい。(二)、半紙一枚に中部地方の略圖を描いて、主なる山脈、及び名高い山、半島、灣、川、平野を記入して下さい。(三)、日本アルプスに登山した方が近所にゐらつしやるならば、繪葉書を借りてよく御覽なさい。そして五十四頁の挿繪と比べて御覽なさい。(四)、地勢及び氣候のところを地理附圖と比べながらよく讀んで、そして本に出てゐる挿繪をよく御覽なさい。(五)、中部地方の地勢から見て奥羽地方及び關東地方と比べると、産業は如何でせうか、よく考へて下さい。(六)、六十六頁に大正七年度に於ける茶の産額の比較表が出てゐます、統計年額によつて大正十年度及び十一年度の表を作つて下さい。(七)、同上繭の産額について。(八)、中部地方の養蠶業について、地理書及び参考書を使つて出来るだけ詳しくしらべなさい。(九)、七十頁に出てゐる「福井の輸出羽二重検査所」の繪をよく御覽なさい。(一〇)、皆さんの内に富山の薬のある方は、どんな薬があるかお母さんに

見せて戴きなさい。(一一)、我が國で石油の産する縣はどこどこですか。そして石油は不足分をどこから輸入してゐるか、年鑑によつてしらべなさい。(一二)、中部地方の主なる鐵道をかきぬいて表を作つて下さい。(一三)、日本海方面と、太平洋方面とは、海上の交通に於てどちらが便利ですか。(一四)、地理附圖に出てゐる、都邑について、出来るだけ詳しくしらべなさい。

教材解説

一、區域 (位置)

中部地方は、本州島の中央部を占めた地方で、東は關東地方、奥羽地方に接し、西は近畿地方に連り、北は日本海に臨み、南の一帶は太平洋の波に洗はれてゐる。

東西の幅が凡そ百里、南北が百二十里あつて、面積は四三〇九方里で、關東地方の二倍に及んでゐる。併しながら人口の密度は遙かに關東地方に劣り、總數一〇三〇萬人で、平均密度一方里に就いて二七八〇人である。

中部地方は、静岡縣(静岡)、愛知縣(名古屋)、岐阜縣(岐阜)、山梨縣(甲府)、長野

縣(長野)、新潟縣(新潟)、石川縣(金澤)、福井縣(福井)の九縣から成立してゐる。

二、地勢、氣候

A 地 勢

中部地方は、本州島の中で幅の最も廣い地方であつて、而も、北から走つてきた、カラフト山系と、南から走つてきたコンロン山系との衝突地帯であつて、地形が非常に錯雜して、高峻雄大な山脈が頗る多い。ことに中央の山地の二帯は海拔三千米を超ゆる高峰が蜿蜒として相連り、眞夏でも尙白雪を戴いてゐる雄大な景色は日本國中何處でも見ることは出來ないのである。五十四頁に出てゐる絶景も其の一つであるが、夏になると、東京地方の人が盛に登山隊を組織して出て行くので臨時列車まで出るといふ賑かさである。歐洲に於ける有名なるアルプスの名を借りて、是等の山を日本アルプスと一般に稱してゐる。

川は中央の分水嶺から南北に分流して、太平洋と日本海との兩方面に向つて流れて

ゐるが、此の地方は一帶に山地であるから、おほかた水の量は少くないけれども急流をなしてゐるから交通上はあまり利用されてゐない代りに、發電と灌漑には十分に使用せられてゐる。

尙この地方の地勢の特色を二三擧げて見よう。

- (イ)、高山性の特色を備へた高峻な山岳が多く本州島の屋根をなす。
- (ロ)、中央部の山地によつて、地形上、北、中、南の三部に區轄し得ること。
- (ハ)、河川は多く急流である。
- (ニ)、南北の西海岸には、肥沃なる平野があること。

B 山 脈

【中央部】 この地方の中央部には、高峻雄大な飛彈山脈が南北に縱走し、更に其上に噴起してゐる乗鞍火山脈と共に雄大なることは本州第一である。

南方は飛彈、信濃の境に聳える御岳山(三〇六三米)を起點として、之から北になる

につれて次第に高さを加へ、本山脈中の重鎮である乗鞍岳（三〇二六米）に至つてゐる。乗鞍山岳の北には、安房山（二二一九米）、焼嶽（二四五八米）等がある。就中焼嶽は山頂と山腹の二ヶ所から盛に煙を噴出してゐる。穂高嶽の北方に聳えてゐる槍ヶ岳（三二八〇米）は高峻でしかも幾多の支脈がこゝを中心として派出するがために、通例日本アルプスの盟主とよばれてゐる。かくて主山脈は更に北へ進み、幾多の山岳を生じ白馬岳（二九三三米）の邊から急に高度を減じつゝ、親不知の險となり、海に没してしまふ。かくしてこの山脈中には海拔二千五百米以上の山が四十以上に及んでゐる。

【東南部】 東南部には、木曾、赤石の二山脈が並んでゐる。木曾山脈は、三河灣頭から起つて、木曾、天龍の二川を分水して北にのびた山脈であつて、脈中には駒ヶ岳（二九四〇米）を始め數多の山がある。

赤石山脈は天龍、富士兩川の間を南北に縦走するのであつて、山が非常に深く且つ高峻であるが故に調査が行き届かないで、久しく世に知られなかつたが、脈中の白根山（三一九二米）は、鎗ヶ岳を抜くこと十四米、内地にあつては富士山に次ぐ高峯である。此の外に三〇〇〇米を超ゆる高峰が八つもある。盟主赤石山の高さは三一二〇米である。

【西部】 西部には飛彈高地が横はり、中に高山の盆地を挟んで、更に西方曰山火山脈に連つてゐる。この地方の中心地である高山町は、海拔一八六〇尺の高地にある。之から推して、この地方一帯が高地であることが窺はれるであらう。

【東部】 富士山を盟主とする富士火山脈中には、愛鷹山（一一八七米）箱根山、天城山（一四〇五米）等を起し、太平洋に没して、再び大島の三原火山を起してゐる。而して、北方には、八ヶ岳（二九八二米）、立科山（二五三〇米）等を起して、越後の妙高山（二四四六米）、焼山（二四〇〇米）等に連つて日本海に没してゐる。

富士山は高さ三七七八米、甲斐、駿河の兩國に跨つて四時白雪を戴き、白扇を倒に懸けたやうな、あの雄姿は、近國の十三州から望むことが出来る。山頂には周圍一里餘の大噴火口がある。夏季の登山者は非常に多く、頂上には郵便、電話の設備さへ備はつてゐる。

この外東部には淺間山を盟主とする火山脈がある。淺間山は、上野と信濃との國境にある我が國三大活火山の一つであつて、海拔二五四二米に及び、其の頂上にある噴火口は周圍が十八町もある。而して天明三年七月に於ける大噴火の際には、熱及び泥の奔流は一時間二十里以上の速度で山腹を奔下し、忽ちにして山麓にあつた三十餘ヶ村を埋めてしまつて、三萬五千の人々を殺傷したさうである。然し今日は少しおだやかになつてゐる。

(注意)

(イ)、温泉は火山脈中にあるものであるといふことを了解せしめなければならぬ。

伊豆半島に熱海、修善寺、伊東などの温泉地があるのも其のためである。

(ロ)、五十八頁の山脈の中に「木曾川における筏組み」の挿繪を出してあるのを見ると、有機的取扱の要求が濃厚であることが察せらるゝと思ふ。

C 川、平地

多く源を中央の分水嶺中に發して、或は北に、或は南に流るゝ中に各々支流を併せて、中には、木曾川、天龍川、信濃川のやうな本邦有数の大河となつて、或は太平洋に、或は日本海に注いでゐる。今其の主なる河川を示せば、

(川名)	(全長)
富士川	四一里
大井川	四四里
天龍川	五五里
矢作川	三一里
木曾川	五九里
信濃川	九四里
神通川	三二里
射水川	三七里
九頭流川	二八里

【富士川】 富士川は源を山梨縣の北部に發し甲府盆地に集まつて南へ流れる、沿岸

は風景の優れてゐるので名高い。日本三急流の一である。

【大井川】大井川は源を赤石山脈中の白峰山に發し、駿河、遠江の國境を南に流れ、駿河灣に入る。徳川時代は政略上、架橋、渡船を嚴禁したがために旅人は皆河越の手足を雇つて、蓮臺又は肩車で以て往來したものであつた。

「箱根八里は馬でも越すが

越すに越されぬ大井川」といふ俗語は、如何にも當時の、大井川渡りの困難を現してはゐる。

【天龍川】天龍川は源を諏訪湖に發し、木曾、赤石兩山脈の間を流れて、遠州灘に入る。此川の下流に架せられた鐵橋は長さ八百間、東海道最大の鐵橋として有名である。

【木曾川】木曾川は源を長野縣の南の鳥居峠に發し、南流して、寢覺の床の奇勝を作り、長良川等の支流を合せ伊勢海に入つてゐる。水量が多いので船を通し得る所が實に本流、支流合せて一一四里に及び、木曾山中に産する檜はこの川を利用して筏して下流に送るのである。木曾川の一支流たる長良川は、有名なる鵜飼の行はれるところである。

る。

【信濃川】信濃川は、千曲川、犀川の二つの流れを併せ、東北に流れて、新潟縣に行つて海に入る。内地第一の長流で、阿賀川と共に、越後平野に産する米の父である。

【神通川】神通川は、飛騨高原の水を集め北流して富山灣に入る。流れが急であるので發電に利用されることが大である。

【射水川】射水川は、一に庄川とも稱して、大規模の發電所が設置せられてゐる。

【九頭流川】九頭流川は、福井市の西で日野川を併せて日本海に注ぐ、水量が豊富で發電所の設が夥しい。

【濃尾平野】木曾川の流域は、濃尾平野である。面積が三百方里を占め、我が國では關東平野につぐ大平野であつて農産物が豊富に産出される。又交通も便利であるから、六大都市の一つなる名古屋市を始めとし、岡崎、岐阜、大垣などいふ數多の都會が出來てゐる。

【越後平野】越後平野は、信濃川、阿賀川の流域地方であつて、面積は濃尾平野に

次ぐ大平野で、農産物、特に米が多く、又交通も便利であるがために都邑も多い。新潟、長岡等の大都市を始めとし、人口一萬以上の都邑が八つの多きの上つてゐる。

【甲府盆地】 甲府盆地は、四周が高峻な山脈を以て圍繞された平地であつて、面積十二萬方里半、模式的の盆地である。

【濱名湖】 静岡縣の西南部にある湖であつて、面積は五方里しかないが、周囲は實に二十九里に達してゐる。養魚場として良好で、鰻、鯉等の養殖が非常に盛である。又風光も頗る佳麗を極めてゐる。

【諏訪湖】 長野縣の中央に位してゐる。毎年十二月から、翌年の二月までは、湖面が全く氷結するので、スケートの場所として有名である。東京地方からもスケートに出掛ける人が少くないので、冬になると賑かになる。夏も亦高地は割合に涼しいので避暑客で町が繁昌する。

【富士北麓の湖】 山中湖、川口湖、西湖、精進湖、本檜湖等は富士山の噴火作用によつて生じた湖であるといはれてゐる。

湖面は海拔八百三十米の位置にあつて、湖面の波は静かで、そして富士の秀嶺が倒に映じた美觀はたいしたもののである。この地も亦、大都會の富豪の避暑地として使はれてゐるから夏になると賑かになる。

(注意)

(イ)、長良川の鵜飼については、讀本に詳しく出てゐるから、それを使つて豫習を指導して行くべきだ。

(ロ)、六十一頁の三行にかゝれてある「農産物の産額が多く、交通も便利であるし、従つて都邑も多い」といふ文章の表し方は十分に味はしむべきである。

D 海岸

海岸について見るに南方の太平洋沿岸と、北方の日本海方面とは著しい差異を發見することが出来る。今太平洋方面からのべることにする。

【駿河灣】 伊豆半島の南端から、遠江の東南端の御前崎に連結する東西約三十哩の一線できぎり、之から東北に向つて灣入すること凡そ三十三哩である。灣内三保の松

原の如きは、最も風光の美を以て聞えてゐる。その他田子ノ浦、清見瀉等も風光の美を以て稱せられてゐる。

【遠江灘】 御前崎から、志摩半島の東南端である大王崎に至る間の海を稱して遠江灘といふ。此の海岸を兩分する濱名湖口の今切は、往昔地震のためにこはれた跡であつて、長さ百間餘の湖口を以て海水を連絡してゐるけれども、灣口が一般に淺く、高潮の時に漁船の出入が出来ただけである。

【伊勢海】 伊勢海は表日本の海岸に於ける一大灣口である。海水が北方に灣入することが凡そ三十五哩にも及ぶ。其の東方知多、渥美二半島の突出によつて生ずる副灣は、之を三河渥美の二灣に分けるが、何れも内側には良港が出来てゐる。豊橋、蒲郡、武豊、半田、龜崎等が良港である。

【日本海方面】 日本海方面は太平洋方面と比較すると一般に出入が少い、只中央部に能登半島が突出して東に富山灣があるのと、西南端に若狭灣が回入してゐるのとを除くと出入といふ出入はないといつてよい。

又、島嶼も非常に少く、只佐渡の大島と、能登島の外言ふべきものがない。従つて自然の良港は殆ど見當らない、只敦賀、七尾、小濱、夷等の港を數へ得るにすぎない。人工の港としては直江津、伏木があるが、勿論良港と稱すべき設備でもない。

佐渡島は周圍五十三里、面積五十五方里、越後の海岸から十六里離れてゐる。四時間を費せば、新潟から夷に達することが出来る。

能登半島は、中部地方の日本海中に突出してゐる一大半島であつて、東、南、北の三方は海に面してゐる。地勢は一般に山岳丘陵に富んでゐるけれども、其の高度は大でない。

(備考)

〔親不知の嶮〕 親不知の嶮は、新潟縣の西南、糸魚川町から縣境の市振村に至るあたりである。かつて池大納言の夫人が此の難所をすぎた時に怒濤のために我が子を奪ひ去られた。其の時に次のやうな歌を詠んだと傳へられてゐる。

「親不知、子は此の浦の浪枕

E 氣 候

中部地方は地勢が極めて錯雑してゐるがために氣候も一概にどうといふことはいへない。だいたい三部分に區切つて考へることが便利である。左に之を示せば、

【太平洋沿岸地方】此の方面の氣候は純然たる海洋性の性質を帯びてゐることは、其の最も顯著な特色である。地形上、夏は涼しく冬は暖い沼津では年平均溫度十五度を示してゐる。又夏季になると、日本海流が南部から多量の濕氣をもたらしてくるの
で降雨の量が多い。

【中央部】土地が高峻であつてしかも海岸を去ることが遠いので、所謂大陸的の氣候で、寒暑の差が大である。長野縣の如きは冬季は零度下十度から十二度に低下するに拘らず、夏季になると三十度から三十七八度までの高きに昇る。降雨の量を見るに飛彈の高地は雨量が多いが、信濃は之に反して非常に少く、長野市に於て一千耗未滿

である、長野縣が養蠶の盛なのは雨の少いことも其の一つの原因であるといはれてゐる。

【日本海沿岸地方】日本海沿岸は、毎年十一月頃から、翌年の三月中旬に至るまでの間は、降雪相次ぎ快晴の日を見ることは稀である。

これ西北風が日本海上の水蒸氣をもたらし、それが中央山脈に衝突し凝結して雪となるのである。故に冬季は白雪皚々として、一面の銀世界を呈するのである。雪の量は所によつて多少の相違はあるが、多い所では一丈の積雪を見ることがある。従つて此の間には生産力は半減若くはそれ以下に下るといはれてゐる。

(注意)

(イ)、氣候といへばすぐ氣温のみを考へる風が子供にはあり勝ちであるから、雨量、風向等も含むものであることに十分に注意しなければならない。

(ロ)、中部地方の雨量を見ると、沼津は二千耗、長野は一千百耗、金澤は二千五百耗となつて現れてゐる。この雨量の中、日本海方面の雪は雨量であることを忘れてはならない。雪は單に氷つて落ちてくるといふだけで

あつて雨と何等違ふ所はない。従つてこの地方は、我が國で最多雨の一地方として數へられてゐるのである。

三、産 業

A 農 業

農業はこの地方の主要なる産業として、古來頗る發達し、常に住民經濟の根柢となしてゐるのは次に述べるやうな地理的原因があるためである。

(一)、濃尾平野、越後平野を始め、海岸一帯は平地で、耕地が極めて廣い。

(二)、概して暖流に沿岸を洗はれ、氣候が溫暖で雨が多く、地味肥沃で各種の農産物の生育に好適であること。

(三)、近畿地方に接して、古來相當に人文が發達し、耕作法の研究、收量増加の企劃が常に他地方を凌ぐものがある。

(四)、人口が自ら稠密で勞力の供給が充分である事等である。

今この地方に産する農産物の主なるものをあげれば次の如くである。

【米】 越後平野（信濃、阿賀の二大川の流域）は耕地が非常に廣く、豐沃なる水田の面積は十七萬町歩に達し、地形上北方の海上からの濕氣を凝集するに適し、雨量が多く夏季土用中の氣溫の高いのとは稻株の繁殖を盛ならしめ、米の年産額三〇〇萬石作付反別と共に我が國第一である。

濃尾平野も亦木曾川、矢矧川、豐川の流域は地味肥えて米の生育に適してゐる。

【麥】 麥はこの地方到る處に相應の收穫があるけれども、特に愛知縣は産額が著大である。裸麥を合する時は實に八十萬石の年産額を有し、常食、パン、菓子原料となり、或は、半田、龜崎等のビール、醬油の醸造、津島の麩製造の工場へ送つてゐる

【茶】 茶は静岡を中心として廣く栽培せられる。特に大井川の西にある丘陵地牧野原は、地味が頗る豐沃で、茶の栽培を以て聞えてゐる。この地方は氣候は溫暖であるし空氣の濕度は多く、而も土質は乾燥してゐて、茶の成育に適してゐる。又交通の施設が行届き、輸送運搬に便利であるが故に、盛に他の地方からの製品を集めて静岡市で精製して北米合衆國を始めとし、加奈陀、支那、關東州等の各地に輸出する。

【蜜柑】 静岡縣は北方に山丘があつて、寒風の侵入を遮断し、暖流は近海を流れ、それと相俟つて氣温が頗る溫暖である。加之、土質中に石灰分を含有して柑橘類の成育に適してゐる。剩へ東に東京、西に名古屋の大市場を控へて交通が便利である。

【養蠶業】 長野縣に於て最も盛である。長野縣は一大高原をなしてゐて、山岳が四方をめぐつて、降水量が少いために、空氣が乾燥して蠶の發育に適してゐる。加ふるに土壤が多く火山質から出來てゐて桑樹の栽培に適してゐる。それに生活上の困難を排除するために、縣民が異常な努力で以て斯業の開發に勉めてゐる。

【葡萄】 葡萄は山梨縣甲府の東の平地に多量に産する。食用として、東京、横濱等に送り出し又製菓乾菓に使用し葡萄酒に醸造する等非常に需要が多い。

(注意)

(イ)、産業や産物を研究するに行政區分を考へて恰も縣の境がある如く取引の中心も何時でも行政上の區分と關係すると見ると間違ひが生ずる。米の産額を見るでも單に愛知縣、新潟縣と見ずに、關東平野、濃尾平野、後平野と見る方が研究上進歩した見方である。

(ロ)、甲州の葡萄にしても、静岡の茶にしても、山梨や、静岡の茶でなくして、消費地は遠く東京とか、北米とかにあるのであるから、其の際は、再び關東地方にかへり、或は北米の地理研究の一部に食ひ込まなければならぬ。

C 工業

【生絲】 諏訪湖畔一方里足らずの地は、日本全國の凡そ六分の一弱の生絲を産し、世界第一の製絲工場がある。之は主として次のやうな地理的原因によるのである。第一は即ち養蠶が最もよく發達して製絲の原料たる繭は常に全國第一の産額を示し、原料品の供給が豊富である。第二は諏訪湖の水は生絲の手觸りと光澤とをよくするに好適な軟水であること。第三は諏訪地方の乾燥した空氣が繭の貯藏に適してゐて絲の質を變せず一年餘りも倉庫に貯へて置くことが出来ること。第四には電力の供給が便利であることなどである。

【羽二重】 日本海沿岸の諸縣は、一年の大半は寒氣がつよく、冬季の深雪は戸外の

労働を制限するので勢家内工業が行はれ、中にも福井石川の絹織物業は其の主要なものである。輸出の中羽二重、大正九年には七千三百三十九萬圓は福井縣の羽二重で全國絹織物産額一億九百萬圓に對し六割七分を示してゐる。石川縣は福井縣に次ぐ絹織物の産地で金澤市を中心としてゐる。

【時計】 林市兵衛氏が、五十年前に時計販賣店を名古屋市に開いてから、現代市兵衛氏に至つて、苦心研究を重ねた結果今日の大工場となつたのである。内地の需要はおろか、外國へも輸出されるやうになつた。

【陶器】 (瀬戸、多治見) 陶器は岐阜縣の多治見、愛知縣の瀬戸が昔から有名であるが愛知縣の陶器は其の中心が名古屋市に移つたかの感があつて其の五割の産出高を示してゐる。大正九年の一ヶ年間に愛知縣下に於ける産額は三千百六十一萬圓を超えてゐる。

岐阜縣は愛知縣に次ぐ産額を有し、大正九年度に一千一百万圓の額に昇つてゐる。其の種類は、茶碗、皿、茶器、徳利、盃、蓋物、碁子、花瓶等其の他、南洋、支那へ

輸出向の陶磁器、歐米へ輸出向の食器等を製造してゐる。

【漆器】 静岡縣の漆器は百二十萬圓許りで、其の九割は静岡市から産出する。

石川縣の輪島塗は、家具類、食器類であつて、品質の堅牢を以て有名である。之又家内工業の産物である。

【洋紙】 富士の裾野、富士川の流域には三椏を栽培して、駿河半紙の原料とした。そして大宮附近にある富士製紙會社の大工場は、富士山麓の楮、三椏其の他の木材のみでは不足をつぐるやうになつて、今日では原料の大部分は北海道の椴松に仰いでゐる。この地方は、交通が便利で、動力の供給が易いのみでなく、水の質が紙の製造に適してゐるといはれてゐる。

【樂器】 (濱松) 明治十八年に山葉氏が個人の經營で製造に着手したのが初めて、今日では盛にオルガン、ピアノ、ハーモニカ等を製造してゐる。木材の原料は北海道から移入してゐる。金物は京阪地方から、布、革類は東京及び米國から供給をうけてゐる。近年次第に技巧が洗練されて内地は勿論のこと、歐米、濠洲の各地にも販路を廣

めようとしてゐる。

【賣藥】 賣藥主産地は富山である。天和中岡山の醫師靜閑が此の地に來て、反魂丹を製し、藩主の前田正甫氏に奉つたところが、正甫は濟民の一手段として製藥行商を許した。これが即賣藥の始である。今日では内地は勿論のこと、朝鮮、支那、南洋諸島にまで廣く販路を有して益々盛大を加へるに至つたのである。年總額六百九十二萬圓に及んでゐる。

(備考)

(イ)、〔多治見、瀬戸〕、後堀川天皇の朝に、山城の人加藤四郎左衛門景政といふ人が、宋に入つて陶法を研究し歸朝して後此業を開いたのであるが、徳川義直の入國以來熱心な保護獎勵の下に著しく進歩した。そして代々加藤氏の子孫が此の秘法をうけついで製造に従事して來たが、明治大正の世となつて、各所で之が製造に従事するようになったのである。

(ロ)、〔輪島塗〕天正年間に紐州根來寺の僧徒が秀吉のために敗られて四方に離散し其のあとに、漆業に巧な者が此の地に來て開業したと傳へられてゐる。

D 林 業

本州中部地方は本邦有数の林業地である。到る處に緑の林が鬱蒼として茂つてゐる。就中有名なのは木曾、天城、天龍川流域の森林である。

木曾の檜が古來我が國三大森林と唱へられたのは次のやうな原因による。

面積が廣くて、きこりの入り難い深山幽谷に富んでゐることや、地味が樹木の生育繁茂に適してゐることや、森林保護の制度が十分であること等である。こゝで伐出された材木は鐵道や木曾川を利用して、各地に輸送されてゐる。名古屋市も其の材木の集散地の一つである。大正九年には産額七百三十六萬圓を示してゐる。

E 鑛 業

【石油】 (新潟縣の柏崎、長岡) 明治五年に米國人ライマンを聘して全國の石油地を調査せしめ、新潟縣の尼瀨附近に手掘法を起して、民間に範を示してから、次第に隆盛

になつてきた。明治三十二年には、日本石油會社の柏崎製油所が落成して、其の後資田石油會社が起り、製油法もだん／＼改良されて、外國品に比べて遜色のない良品質のものを出すやうになつた。

我が國石油の分布は樺太の西海岸から北海道脊梁山脈の西を過ぎて本州津輕半島から、日本海沿岸の秋田、山形、新潟を通つて、長野から静岡の南海岸に行つてゐる。而してこゝから出る原油は主に柏崎、新潟、新津にある製油所で石油に精製されてゐる、新潟、柏崎の各製油所は最も大きい製油所で秋田縣の原油も當地に運んで精製するのである。大正九年の新潟縣に於ける石油の總額は二千百八十四萬圓である。

【金】 佐渡の金山は、慶長六年の發見で、徳川氏の御料地として經營されてゐるが明治維新後は帝室御料局の所有に屬し、明治廿九年になつて三菱合資會社に拂下げとなつて以來同會社がついて經營してゐる。この地の金は主として大阪の造幣局に送られ貨幣に鑄造せられてゐる。又静岡縣の蓮臺寺鑛山からも多少の金を産出する。

【亜鉛、鉛、銀】 大正九年に於ける神岡鑛山の鑛産額は約二百五十萬圓、其の中百六十萬圓は亜鉛、九十三萬圓は鉛、四十一萬圓は銀である。鉛の産額は本邦の首位にある。

F 水産業

この地方は廣濶な外洋に面するのみならず、更に其の間には、駿河灣、伊勢灣等の灣入があつて、水産物は頗る豊富であること勿論である。伊豆地方では古來鯉節の製造に従事し、精品といふ程ではなかつたが、明治二十二年以來當局の指導よろしきを得て、こゝに始めて土佐製法に、舊來の伊豆製法を加味し、そして優良な品を製出するやうになつた。今日では、三陸、臺灣地方に出來た鯉節もこの地で精製するやうになつた。又、日本海方面にも魚族が豊かであるが、この方面では漁獲方法が未だ幼稚であるがために、其の收穫の量が多いとはいはれない。

四、交 通

A 陸上の交通

この地方に於ける交通の發達に於ては、次の諸項を最も顯著なものとしてあぐるこ
とが出来るとが出来る。

(一)、本州交通路の三大動脈が縦走してゐる(東海道線、中央線、北陸線)
(二)、南北の横斷交通は不便であること、これはいふまでもなく、中央部に數多の
峻峰が巍々として聳ゆるがためである。

(三)、交通線は海岸に沿ふて最もよく發達してゐること、太平洋方面も、日本海岸
の方面も平野があるので、交通線も従つて此の海岸に沿ふて發達してゐる。

(三)、河川が交通上に利用されることが割合に少い。此の地方の河川は關東地方の
河川に比べると比較にならない程利用されてゐない。

【東海道線】東海道線は箱根山を超えて此の地方に入ると、富士の裾野を横ぎつて
三島に下つて大井、天龍の二川を渡つて、豊橋、岡崎を経て名古屋に出て近畿地方に

向つて居る。

【中央線】中央線は東京飯田町驛から山梨縣に入ると、笹子のトンネルに入る。こ
のトンネルは、明治二十九年に工事を起して、約七ヶ年間の月日と約二百二十萬圓の
費用とを費して出來上つたものである。長さは約一里六町、汽車が通過するに約九分
時間を要する。

甲府に出た汽車は、長野縣に入り山紫水明な諏訪湖の北を繞つて木曾川の谷を通つ
て名古屋に出る。全長二五三哩、飯田町及び名古屋間に要する時間は約十六時間半で
ある。

【北陸線】東海道線の米原から分れて敦賀港に出て、福井、金澤をすぎて富山縣に
入る。かくして親不知の嶮を通つて直江津に着く。全長實に二二八哩。

【其他の鐵道】

○高山線 岐阜—太田 一七哩

○養老鐵道 揖斐—桑名 三五、八哩

- 富士身延線 富士—身延 二六、九哩
- 信越線 高崎—新潟 二〇三、六哩
- 篠井線 鹽尻—篠井 四二、一哩
- 小濱線 敦賀—高濱 四二、八哩
- 七尾線 金澤—七尾 四一、六哩

(備考)

次に道路交通に就いて簡単にのべよう。元來この地方は其の位置が本州の中部を占め、中世から我が國の帝都であつた京都と、幕府の所在地であつた鎌倉、江戸との中間地帯にあつたがために、交通は頗る頻繁に行はれたのである。従つて道路交通の進歩を促すことも相當にあつた。

○東海道 所謂昔の東海道は、京都に起つて近江に入り、草津から伊勢に出て、桑名から海上を熱田に渡つて、それから海岸に沿ふて東上し、岡崎、濱松、静岡を過ぎて、天龍、大井、富士の長流を渡り、箱根山をこえて江戸に至るものであつた。その間に所謂東海道五十三次の宿場があつたのである。

○北陸街道 近江から越前に入つて、福井、金澤を通り富山に出て親不知の嶮を通つて、糸魚川、直江津を過ぎて新潟に至るのであるが、よく積雪のためになやまされたといはれてゐる。

○中仙道 京都から近江に出て、草津から、東海道と分れ、古の不破の關のあたりで、鈴鹿山脈を横斷し、大坂、岐阜を過ぎて、木曾の山峽に入り、關東平野に出て、高崎をへて江戸に至る街道である。山賊、雲助などが多く出たのはこの道ださうである。

(注意)

(イ) 交通路は一地方を取扱ふに當つても決してきりはなして取扱つてはならぬ。

B 海上の交通

【太平洋方面】 太平洋方面には、清水港、名古屋港、武豊港、龜崎港等がある。何れも内地屈指の良港であつて、大船巨船の出入碇泊に便利である。中にも清水、名古屋の兩港から横濱及び神戸に通ずる線は非常によく開け、又外國船の碇泊することも少くない。近海の小港と小港とをつらぬく小汽船の往來も賑かである。清水港は茶の輸出港として有名であるし、名古屋港は、綿絲、陶磁器、木材等の輸出港として知られてゐる。

【日本海方面】日本海方面は、海岸線が短い上に、冬季一般に西北風が強く吹き荒れるので、良港に乏しく海上の交通は微々として振はぬこと勿論である。只この間に敦賀港だけは此の方面唯一の良港として名高いのである。

敦賀港は、東西南の三方は皆陸地で圍まれ唯北の方だけが展開して日本海に通じてある自然の良港である。ウラチポストツクとの間に定期汽船の航海がある。海上四九四哩四十四時間の航程である。

大正十年に於けるこの港の輸入額は三百三十二萬圓許で、輸出額三百六十五萬圓に達してゐる。

此の他に七尾の開港場があるが、極めて振はない。輸出入額が百萬圓に達せず、取引の相手は支那を主とする。

(注意)

(イ) 海運、定期航路について内容を明かにしてをかなければならぬ。

(ロ) 敦賀から、倫敦まで行くに、シベリヤ鐵道を利用する時は二週間を要する。

五、都 邑

この地方は其の面積が、關東地方の二倍に近い廣大な面積を占めてゐるけれども、高原地方が多いので、人口は約關東地方の二分の一にすぎない。

然しながら之を平原地方だけに就いて見るならば、密度も非常に大で、人口一萬以上をもつてゐる市邑の如きも、十八市、六十二町、十四ヶ村に及んでゐる。之等の人口を總計すると、二百四十萬に近く、この地方總住民の四分の一は人口一萬以上の都邑に密集して生活を營んでゐる譯である。特に南太平洋岸の地方は、古來我が國の表通りの地方として、人口が極めて稠密である。

【静岡市】安倍川の下流に位して、人口七萬四千、古來政治上の中心地であつた。戰國時代の中ば頃、今川義元の居住地となり、慶長十年以後は徳川家康の隱居地として其の死に至るまで天下の實權の府であつた。家康の死後は幕府直轄の地として、町奉行の支配に屬した。尙、今日に於ても、政治、軍事、教育の小中心地を占め、又交

通上の要地に當つてゐる。最近静岡高等學校が設けられて賑かさを増した。

【濱松市】 人口六萬五千。天龍川と濱名湖との中間に位して、四周の要害が頗る堅固であるために、かつて徳川家康の居城として名高い三方原の古戦場は、市の北方一里のところにある。近時商工業の發達が著しいが、樂器の製造は前述の通りである。

【沼津】 静岡縣の海岸にある保養地として繁榮してゐる。人口二萬一千人ある。

【大宮】 此の附近に有名なる富士製紙會社の大工場がある。人口は一萬八千人であつて、富士の麓にある。

【名古屋市】 名古屋市は大阪市に次ぐ大都會で、大阪及び東京と共に我が國産業の三大中心の一つである。故に一名中京の名がある。人口は六十萬人ある。この市は昔は人煙稀な一寒村であつたが、慶長十二年、家康が其子義直をこの地に封じて以來次第に繁榮を加へた。名古屋市が今日の如き發展を見るに至つた原因を考ふるに、

(a) 大消費地、大生産地の中央に位してゐる。

(b) 御三家の一つであつた。

(c) 名古屋港を控へ、海上交通が便利である。

(d) 陸上の交通が便利である。

(e) 政治、軍事、教育の中心地であること、縣廳を始めとし、控訴院、鐵道局、第三師團司令部等がある。

(f) 遊覽上から見ても、名古屋城と熱田神宮とを控へ、又伊勢神宮の参拜者が多く此の地に下車して見物する。

【豊橋市】 第十五師團司令部が近郊にあるので有名であるが、近時紡績、セメント等の諸工場が盛に起つて、工業都市となる傾がある。人口は六萬五千人、愛知縣では名古屋に次ぐ大都會である。

【岡崎市】 徳川家康はもと岡崎の一小名にすぎなかつた、即ち家康の生地として有名な土地である。人口が六萬あつて豊橋に次ぐ都市である。

【岐阜市】 岐阜縣廳の所在地であることはいふまでもないが、濃尾平野の中心に位して、交通及び商業の一中心地をなしてゐる。提灯、團扇の産出が有名で人口は六萬三千人ある。

【大垣市】 大垣市は人口二萬八千人、岐阜市に次ぐ都會である。關ヶ原の合戦に西軍の陣所にあてられた大垣城趾は、今も公園として市の中央に保存されてある。彼の有名な養老瀧は市の西南三里半の山腹にあつて常に遊覽の客がたえない。

【長野市】 信濃川を南に控へ人口三萬七千を有する都會で、長野縣の縣廳所在地であること勿論である。東京まで(上野まで一三五哩)七時間半の行程である。

この地は善光寺によつて繁昌してゐるといつてもよい程である。善光寺の本尊は、一光三尊と稱せらるゝ阿彌陀如來一尺五寸の靈像であつて我が國に渡來した最初の佛像である。

【松本市】 松本市は人口が五萬あつて、縣廳所在地の長野に優る生氣に満ちた都會である。

繭、生絲の取引が盛で、蠶卵紙を作つて全國に送つてゐるから純然たる産業の都市であるが、新設の高等學校が設けらるゝに至つて賑かさを増してゐる。又夏になると日本アルプスの登山者がこの地にも集まる。

【上田市】 養蠶、機業の中心地で、繭、生絲、絹織物、蠶卵紙の取引が非常に盛である。そして上田蠶絲専門學校もこの地に設けてある。人口は二萬六千人。

【甲府市】 甲府盆地の中央にあつて、人口五萬六千人、縣の産業及び學術の中心地である。特に繭、生絲、水晶細工、葡萄酒等の取引が頗る盛である。

【勝沼町、祝村】 共に甲府の東にあつて葡萄の産地として有名である。「勝沼や、馬子も葡萄を食ひながら」の句はよく土地の有様を現してゐる。

【新潟市】 信濃川の河口に跨り人口九萬二千、裏日本第二の大都會であつて、後方には面積約百四十方里、内地第一の米産地である越後の大平野を控へてゐる。新潟縣に於ける政治學術の中心地である。

【長岡市】 信濃川に臨み、越後平野の中樞を占めた名邑であつて、人口四萬二千人を數へ、この地方の中心地として繁昌してゐる。

又四方に油田があつて、現在、東山、浦瀬などの諸油田に産する原油は多く鐵管によつて本市に集り、寶田石油會社を初めとして數ヶ所の製油所で精製された後各地に

搬出されるのである。長岡の停車場に連れる數多の油槽車は確かに信越中の奇觀である。

【高田市】 高田平野の中心地であつて、人口二萬八千、第十三師團の司令部が出来てから町が繁昌しはじめたが、今回の行政整理で多分廢止になるだらう。この地理書の挿繪にも出してある通り、積雪の市街として有名などころである。

【富山市】 人口が六萬二千人、富山平野の中央に位し、神通川に臨んで富山縣に於ける中心地をなしてゐる。賣藥については産業の部參照。

【高岡市】 高岡市は人口が三萬七千、富山平野西部の中心地をなして、交通の要路に當り、商工業の中心地をなしてゐる。特に伏木の港を前に控へて水陸連絡上の要地をなしてゐる。

【金澤市】 人口が十三萬、裏日本に於ける最大の都市である。第九師團司令部、金澤醫學專門學校(單科大學に昇格)、第四高等學校、兼六公園等で有名である。近來工業が發達して羽二重、絹織物、陶磁器、漆器の産出も夥しくなつた。

この地は天正十一年に前田利家が封せられてから其の子孫が相次ぎ、三百年の間は加賀百二十萬石の城下として日本中になりひびいてゐた。

【輪島町】 人口一萬二千、古から輪島塗の産地として名高い。

【七尾港】 人口一萬二千。

【福井市】 越前平野の中央に位し人口五萬六千人。徳川時代には松平氏三十二萬石の城下として榮えた。今や北陸地方に於ける交通の要路に當り、又政治及び教育の中心地たるのみならず、商工業の中心地である。特に羽二重の産出は夥しい。

(産業の部參照)。

新田義貞を祀つてある藤島神社は市の西方に當る藤島村にある。

【敦賀町】 (前出交通の部分參照)。

(備考)

(1) 各務ヶ原の陸軍航空隊、岐阜市の東方三里餘の所にあつて、所澤、太刀洗の飛行場と共に三
大飛行場の一つである。

(2) 長良川の鵜飼 毎年五月の十一日から、十月十日迄六ヶ月間、月光のない夜に行はれる。鵜船は何時も五艘から七艘位連合して使用し、各船には鵜匠一人、中鵜使一人、舟夫二人が乗り込んで魚を捕へしむるのである。

(3) 關ヶ原 關ヶ原驛の東西一里、南北十四町に渡る曠原は慶長五年九月十五日、徳川、豊臣の兩軍が大接戦をなした戦場である。

(4) 高田の深雪 高田の街路は家の軒の屋根がつらいてゐて、人々は其の下を通行するやうになつてゐるし、冬になると、毎朝起きて先づ屋根の雪をかき落すことを行事としてゐるといふ、さうしないと雪の重みで家がつぶれる憂があるからである。

(注意)

(イ) 石油の需要は近來非常に重要視されるやうになつた。新しい軍艦は石炭の代りに重油をたいてゐるし飛行機や、自動車の動力となるガソリンも石油からとる。單に産業上の開發のみならず、軍事上にも重大なる意義を加へてきたので、將來石油の爭奪戦が可なりはげしく行はれる時が來ると豫想されてゐる。

復習指導

(一)、中部地方の縣名及縣廳所在地をお書きなさい(二)、地理附圖、中部地方を見て、山地と平野とを比

べ、其の異つてゐる點を發見して下さい(産業、交通、都邑)。(三)、富士山の高さは幾尺ありますか、そして山の高さはどうしてはかるのですか。(四)、日本海方面と太平洋方面とを比較して異つてゐる點を箇條書に書きぬいて御覽なさい。(海岸線、港、都邑の多少、交通、氣候)。(五)、附圖第八圖の「富士山」の圖をよく御覽なさい。(六)、中部地方の主なる農産物は何々ですか、そして外國へ輸出するものは何品で、どこから積み出しますか、そしてどの國へ送りますか。(七)、附圖第八圖に「中部地方諸の産額比較」の圖からりますから之をホーロ紙一枚に擴大して下さい。(八)、横濱から輸出される生絲の大部分はどこから産するのですか、忘れた方は、六十九頁をよくおよみなさい。(九)、輸出羽二重は主に何縣の産物ですか。(一〇)、皆さんの學校にあるオルガンを御覽なさい、輸入品でないのはたいてい濱松で出來たものです。(一一)、附圖第八圖に「越後油田」の圖がありますからよく御覽なさい。又同「奥羽地方の鑛山」の圖を御覽なさい。(一二)、中部地方に於ける主なる鐵道線路の名前をかき上げて下さい。(一三)、東京から浦鹽までは何時間かかりますか、そして、鐵道は何線と何線を使ふのが便利ですか。(一四)、名古屋・長岡・敦賀・松本は各々如何なる種類の都會ですか。(一五)、附圖第九圖の縮尺と尺度とを使つて、信濃川の川の長さを概算して御覽なさい、何里くらいになりますか。

第五 近畿地方

豫習指導

豫習指導を具體的にすることは、兒童の學習方法を指導する上に於て大切なことの一つであるが、毎回同じ型にはめることも亦、兒童の自由研究の方向と趣味とを減殺する憂が伴ふことがあるから、この地方に於ては、主として、兒童の自由研究に委せ、又特殊の問題について深く研究せしめ、そして其の結果を發表せしめて、研究的態度を向上せしめることにしたいのである。

左に二三其の豫習方法を示せば、

- (一) 地理書、附圖、参考書等を使つて、近畿地方について出来るだけ委しくしらべなさい、そして研究したことを、先生に質問したいことはノートブックに書きぬいて下さい。
- (二) 参考書を使つて琵琶湖について出来るだけ委しくしらべなさい。そしてそれを皆さんに發表して披露ませう。
- (三) 關東地方と、近畿地方と交通上似てゐる點をおかきなさい。

教材解説

一 區域 (位置)

近畿地方は本州中部地方の西南に連つて、西は中國地方の瀬戸内海と相接してゐる。此の地方は古來著しく人文が發達して、永く我が國文化の中心地として繁榮をつづけてきたのである。

現在此の地方は、京都、大阪、兵庫、奈良、滋賀、三重、和歌山の二府五縣に分れてゐる。この地方は東西九十里、南北八十五里、面積は凡そ二千百二十方里で、中部地方の半分の廣さであるが、人口は約九百萬で、其の密度に於ては中部地方の二倍に達してゐる。

二 地勢

A 西北部

飛彈高原に連接する中國山脈は、福井と滋賀の縣境を作つて西の方に向ひ、京都府では丹波山地を作つて高原狀をなしてゐる。そして更に其の山脈は稍々北に偏して南北の分水嶺を作りつゝ中國地方を縦に走つてゐる。丹波山地は中國山脈の東端をなしてゐるが、其の支脈中には南に延びて六甲山塊となり、大阪灣に急斜して鴨越の坂を作つたり、又は嵐山、高尾等の名所を作つたり、又比良山や、比叡山となつて京都の北を包んでゐる。

B 南部

南部は西北部に比べると非常に高峻である。就中紀伊山脈は最も高峻であつては、東西に走つてゐる。一名大和アルプスともよばれてゐる。この山脈は我が國地勢の南灣を形成してゐる一大皺曲山脈で、西は紀伊水道を隔て、四國山脈に對してゐるし、又東は伊勢灣で一度中絶するけれども、尙斷續して三河の渥美半島に連つてゐて、遠く赤石山脈と相呼應してゐる。要するに本山脈は高峻の度に於て中部地方の赤石、飛

彈の諸山脈には及ばないけれども一帯に廣い地域に互つてゐて、密林鬱々たる山奥には人跡未踏の地をたくさん残してゐる。

(注意)

(イ)、高原狀をなすといふ觀念は郷土の高原を利用して之を明にして置かなければならぬ。

(ロ)、高野山、吉野山等は、讀方及び國史の中に出てゐるから其の部分を豫習しなく様指導すべきである。

C 中央部

この地方の中央部は或は平地となり、或は湖沼となり、盆地となつて、人文發達上の中心をなしてゐる。

盆地としては、大和、山城、伊賀、近江等がある。山脈には、

【鈴鹿山脈】 近江、伊賀、大和と伊勢の境上を南北に走つてゐる山脈で、北部は伊吹山脈となつてゐる。

【笠置山脈】 伊賀盆地と、奈良盆地との兩陷沒地間に殘留する地塊であつて、雜然

として重疊起伏して、群山の觀を呈してゐる。この山脈中の有名な山としては、若草山(三四一米)、三笠山(四三八米)、春日山(四九八米)、笠置山(三七二米)、逢坂山(六四〇米)、音羽山(六〇〇米)、稻荷山(二九八米)等がある。

【金剛山脈】 奈良縣と、大阪府の境を南北に走つてゐる山脈で、南は和歌山々脈と略直交する。この山脈中にある金剛山(一一二二米)は千早城で有名である。

【大阪平野】 大阪平野は、攝津・河内・和泉の三國に跨り、我が國有數の大平野であつて、東は金剛山脈、南は和泉山脈、北は丹波高原、西北は六甲山塊で限られてゐる。面積は約六十方里、水利の便がよくて地味が肥沃で田園がよく開けて、數多の都邑がこゝに發達してゐる。淀川の下流にある大阪市、六甲山麓の神戸市、大和川の河口にある堺市等は其の主要なものである。

此の外、伊勢平野、兵庫縣の南部の平野等がある。

D 沼川、湖沼

この地方の主なる河川をあぐれば

川の名	全長
熊野川	四一里
日高川	四一里
有田川	二六里
紀ノ川	三四里
淀川	二〇里
由良川	三六里

【熊野川】 熊野川は、源を山上岳に發し、熊野灘に入る。其の支流たる北山川の中流にある瀧八町は其の景色が幽邃なので有名である。

【有田川】 有田川は源を高野山の南に發し、西流して紀井水道に入る。兩岸の山腹は名高い紀州蜜柑の産地で、紀州蜜柑は風味が非常によく他府縣へ送り出してゐる。

【紀ノ川】 紀ノ川は源を大臺ヶ原の北に發して紀井水道に入る。上流は特に吉野川

と稱して、其の沿岸には松の森林が豊かである。

【淀川】 この川は源を琵琶湖に發して、大阪市を貫流する。川は短いが水量が割合に多いので交通に利用せられることが大である。

【由良川】 由良川は源を三國岳に發して西流し、丹波山地の諸水を集めて次第に水勢を多くして遂に舞鶴灣に入る。

【琵琶湖】 琵琶湖はいふまでもなく我國第一の大湖であつて、東西凡そ五里二十町南北十六里九町、周圍は約六十里に近く、面積は四十五方里に及んでゐる。本縣の面積二百六十一方里の約六分の一を占めてゐる。丁度琵琶の形をしてゐるから、其の名があるのだ。深さは最深のところは百四十尋をこへてゐる。この琵琶湖が人生に及ぼす影響の主なるものを列擧すれば、

(a)、灌漑に利用せられる。品質良好な、近江米百五十萬石は、この湖畔の豊沃な土地から收穫される。

(b)、水産物が捕れる。源五郎鮒は特に有名であるが、その他、鯉・鱒・鰻等を合すれば、年百四十萬圓の巨額に上る。

(c)、交通の便を與へる。湖上が交通路として利用される許りでなく、疏水運河が非常に交通の便を與へてゐる。疏水運河は、大津の北端三井寺下から、京都の三條蹴上に至るまで全長六千間餘、明治十八年に起工し、同二十三年に竣工するまで四年八ヶ月の日子を要した。長良山を穿つ千三百間の大トンネルと、京都蹴上に於けるインクラインとは、疏水の二大難工事であつた。この水路を利用すると、大津から京都まで約一時間にして下ることが出来る。

(d)、發電に利用される。京都水電と、宇治川水電とは、其の最たるものである。京都水電について見るに、琵琶湖の水面が京都よりも、百三十六尺の高所にあるので、京都に行つても尙百二十尺の落差を利用することが出来るといふ。この電力は京都市の電燈及び電車に使はれてゐる。宇治川水電は、水力を宇治町に導きこゝで電力を起して、京都、大阪方面の動力に使はれてゐる。

(e)、風光を佳良ならしむ。古來景色の優れた地として有名な近江八景は、何れも

琵琶湖の水のお蔭によるものといつてよい。石山の秋の月・瀬田の夕照・矢橋の歸帆・三井の晚鐘・粟津の晴嵐・唐崎の夜雨・堅田の落雁・比良の暮雪をいふのは之である。

F 海 岸

【伊勢海岸】 伊勢海は、一般に浅く且つ海底は平坦である。この海の西沿岸は單調であつて、自然の良港に乏しい。彼の肥沃な平野の門戸として水陸交通の衝に當つてゐる四日市の如きも、港灣自然の形勢は決して良港ではない。明治四十三年から三百五十萬圓の巨費を投じて防波堤其の他港として必要な工事をすゝめてゐる。

【太平洋沿岸】 志摩半島の南端麥崎から西南にかけて紀井半島の南端大島に至る間直徑海上約七十里を熊野灘といひ、更に潮岬から西北日の御崎に至る間を紀州灘といふのである。熊野灘には、紀伊山脈に屬する山脈が直ちに迫り、到るところに岬角、半島があつて所謂リアス式海岸の特相を現してゐる。古來、遠江灘と共に波浪高くし

て航海者の苦しんだ所である。天候靜穩の日も、尙太平洋の遙か彼方から押しよせる波は相當の高さを呈してゐる。この海岸には、志津・長嶋・尾鷲・木本・新宮・勝浦等の諸小港があるが背後が山地であるためにあまり發展しない。紀州灘にある潮岬は本州島の最南方に位して、北緯三十三度二十七分、殆ど八丈島と同緯度の地にある。白色不動の一等燈臺がこゝに立てられて附近二十哩の海上を照してゐる。又この地にある無線電信局は有効距離一千哩である。

次に紀淡海峡は、紀伊水道の東北和泉山脈が一旦海に没して、再び淡路島の南部に現はれる間の海峡であつて、この海峡の近くには和歌ノ浦の勝地がある。

鳴門海峡は、淡路島の西南に突出してゐる門崎から、徳島縣の東北にある孫崎に至る間の海峡である。鳴門海峡は古來潮流が非常に急激で所謂「鳴門の渦卷」のために有名である。潮流の速度は普通一時間七哩乃至八哩であるが、春秋の大潮には十一哩から十二哩にも及ぶといふ。

【内海沿岸】 瀬戸内海といふ名稱は、今では廣く大阪灣以西の海面を呼ぶに用ひて

あるけれども、元來其の名の起りは「明石の瀬戸の内」の意であつて、海峽以西の海に名づけたのである。

大阪灣は瀬戸内海の東方に位してゐる内海であつて、四方殆ど陸地に圍まれてゐる。其の形は完全な楕圓形であつて、面積は凡そ百十五方に達する。沿岸には大なる出入なく海底も非常に浅い。然しながら我が商業界の中心をなしてゐる大阪港と、我が國第一の輸入港たる神戸港があるために、大小の船舶が輻輳してゐる。

播磨灘は淡路島から小豆島に至る間の内海であつて、海底は一般に浅く深いところでも二十尋にすぎない。北岸には平滑な砂濱が長く連つて白砂青松の勝地が多い。特に尾上・高砂・曾根等は松で有名である。

【日本海岸】 この地方の日本海岸は與謝半島が長く海中に突出して、其の北端の經ヶ岬は、東北越前岬と相對して、其の中には裏日本屈指の大灣である若狭灣が抱かれてゐる。然しながらこの地方の大部分は、北陸地方に屬してゐるが故に、近畿地方に屬する部分は、僅かに其の西方にある成生岬から經ヶ岬に至る間の一部分であつて、中

には更に舞鶴灣、宮津灣の二大灣がある。

舞鶴灣は波が静かで、水も深く且つ又水面も廣いので多數の船艦を碇泊させることが出来る。我が裏日本の海岸を防衛する舞鶴の要港となつてゐる。舞鶴はかつては軍港であつたが、最近要港となつたのである。宮津灣は、與謝半島の蔭に深く侵入してゐる長灣であつて、長さ約五哩、幅約一哩、灣内は水深く波静かで如何なる風をもよく避けることが出来る。日本海の海岸では稀に見る自然の良港である。宮津の町は其の南端に位してゐる。

日本三景の一として有名な「天ノ橋立」は、成相山麓から長く南に突出すること凡そ三十町幅は約一町以内で、白砂青松の砂嘴で岩瀧灣の瀉湖を西に分つてゐる。其の他、津居山灣をはじめ多數の小灣があるけれども特に記すべきものはない。

(注意)

(イ)、八十八頁の砂洲・海峽、八十九頁の灣と灘との區別、九十頁の潮流、水道等の言葉を明瞭にしてなくべきである。

三 交 通

近畿地方は、關東地方と共に我が國では最も交通の發達した土地で、大阪、京都からは、鐵道が四方八方に通じ、又神戸、大阪は内外航路の中心に當つてゐる。

凡そ交通の便否は、其の土地の發達と文化の程度とに深い關係のあるものであつて土地が發達し、文化が進んで來ると交通も便利になつてくるが、之に反して其の土地の交通が開けることによつて、其の土地の文化が進歩することも明かな事實である。従つて、此の人文の發達と交通との間には、互に因果の關係が存在するのである。而して大阪、京都、神戸を中心とした此の地方の交通が非常に發達してゐるといことは、一面又本地方の文化の程度が高いことを物語つてゐると見てもよい。而して何が故に此の地方は斯の如く交通が發達したか、其の原因に就いて少しく詳しく考へるならば次の各項を擧ぐることが出来るであらう。

(a)、日本列島の事實的中心地であつて、東には、中部・關東・奥羽の各地方を控

へ、西には、中國・四國・九州の各地方を控へてゐる。

(b)、若狭・伊勢・大阪の三灣が深く内地に灣入してゐるので、本州島の一大括約部となり、自然に東西の貨物は本地方を通つて、東と西の兩方に融通されねばならぬやうになる。

(c)、西北部、南部を除くと、本地方の中央部は平坦であつて、交通線の發達を阻害しないこと。

(d)、平野は一般に土地豊沃であつて、産物が豊富である。

(e)、我が國商工業の中心地である大阪市、我が國第一の輸入港である神戸市が本地方の中心をなしてゐる。

(f)、歴史的に見ると、明治大帝が東京に御遷都になるまで、凡そ一千年間我が國政治の中心地であつた。従つて、見る可きものも多く四時遊覽の客が絶えないこと等の原因が相集つて、今日の近畿地方の交通の發達を促した譯である。

A 陸上の交通（鐵道及道路）

徳川時代、參勤交代のために江戸に往復する諸大名の警蹕の聲が賑かであつた街路も、今や、東西南北横に交叉する鐵道線路のために壓倒せられて、一道の松影が僅かに在りし昔の俤を語つてゐるにすぎない。

【東海道線】 東海道線は、關ヶ原の古戰場を経て本地方に入るや、米原で北陸線と岐れ、琵琶湖の南を廻つて大津市に着き、それから京都、大阪を経て本線の終點たる神戸に入る。東京驛から三七三哩、特急を利用すると僅かに十二時間を要するに過ぎない。そしてこゝで山陽線と連絡する。

【山陽線】 神戸から起つて、瀬戸内海の沿岸を西へ西へと走つて下關に至る間三二九哩餘。特急にのると十二時間を要する。で東京を午前八時四十五分の特別急行列車で出立すると、翌日の午前八時五分には下關に着く。所要時間二十三時間二十分である。今より六七十年前の徳川時代の人には誰しも、夢想だになかつたやうと想像

されるのである。之から推して、更に五十年後乃至は百年後に於ける交通機關の進歩は之又吾人の想像の外に出づるものがあらう。

【關西線】 名古屋と大阪とを連絡する百八哩餘の鐵道である。即ち名古屋を出た鐵道は、桑名、四日市を経て、龜山に出て西に向ひ、山脈、盆地等を横ぎつて、西へ西へと進み大阪に入るのであるが、其の沿線には、奈良、笠置等の史蹟が多い。

【山陰線】 京都を起點として西に向ひ、丹波山地を横斷して福知山に出で、城ノ崎に下り、此處から鳥取、松江、濱田等を経て、山口に出で、南下して小郡驛で山陽線に合するもので全長三七九・一哩である。其の中石見益田驛から小郡まで、五八・四哩の間は、山陰本線に對して、山口線といつてゐる。故に山陰本線は、京都から石見益田驛まで三二〇・七哩の間である。

此の他の鐵道を示せば次の如くである。

名稱	哩數	起點	終點
參宮線	四一哩	龜山	鳥取

近江線	二六哩	彦根	貴生川
草津線	三六哩	京都	柘植
奈良線	二六哩	京都	奈良
南海線	四〇哩	大阪	和歌山
和歌山線	五五哩	王子	和歌山
播但線	四一哩	姫路	和歌山
福知山線	七一・六哩	大阪	福知山

次に本地方の道路を見ると、東海道(京都から江戸まで一三四里)、中仙道(草津から東海道と岐れ、番場、醒井、柏原を経て、關ヶ原を貫き、濃尾平野に入り木曾川に沿ふて東北に向ふ)、北國街道(鳥居本にて中仙道と岐れ、琵琶湖畔を北に向つて日本海に出で、福井、金澤、富山を経て新潟に向ふ)、及び、西國街道(京都から山崎に出て丹波山地の南麓をぬつて、池田、伊丹の中間を走り西に向ふ。かうして西の宮を経て須磨、舞子、明石等の景勝の地を經姫路、赤穂等を過ぎて中國地方の三否に達する)等が其の主要なものであつて、往時鐵道のない時代には是等の道路が陸上唯一の交通

路であつたことはいふまでもない。

其他陸上の交通としては、京都・大阪・奈良を中心として、電車及び自動車が利用されてゐることは他の大都市と異なることはない。

B 海上の交通

本地方の沿岸は、水運がよく開けて大小の船舶が輻輳し、發達せる陸上の交通と相俟つて、地方文化の開發に資する所が少くない。神戸・大阪・四日市・宮津の四港は何れも我が國の開港場として指定されてゐるが、其の中でも、大阪、神戸の二港は本地方に於ける海上の二大門戸である許りでなく、又我が國屈指の貿易港である。

【神戸港】 明治三十九年以來、總工費一千六百萬圓で築港擴張工事を行つたので、四個の大突堤は延長約千六百間に達し、三千噸以上二萬噸以下の大型船舶十九隻、約四十萬噸を自由に繫留することが出来るのであつて、今日では東洋第一の良港として目せらるゝに至つた。

現今近海航路は勿論のこと、アジアの諸港、歐洲、米國、濠洲の各港に通ずる内外の大船舶が常に輻輳してゐる。大正十一年の統計によると、本港は、輸出が二七九八二一、輸入が八五六三五六、合計一一三六一七七であつて、輸出入總額は横濱に次いで、我が國の第二に位するが、輸入額は本邦第一である。(單位千圓)

(備考)

(1)、大正十年の入船噸數は、神戸の約一千四百二十萬噸が最多で、大阪の八百七十萬噸が之に次ぎ、勝浦の一一八萬噸、四日市一一六萬噸、宮津六三萬噸、洲本(四一萬噸)。

(注意)

(イ)、何れの部分を指導するについても、本の挿繪の取扱といふものは決して忘れてはならない、ことに新教科書は、港灣、都市等の挿繪が出てゐるから十分に利用しなければならぬ。

四 産 業

A 工 業

國內第一の工業地に數ふべき地方であつて、其の種類の多いこと、其の技術の精巧なること、其の産額の多大なることは何れも他地方に比類なき所である。殊に阪神地方の如きは、旭日昇天の勢を示し、煙突から吐き出す黒煙は、常に天を掩ひ日中と雖も、晴れたる空を仰ぐことが出來ぬ程の盛況である。かく盛大になつたのは、左の地理的要件を具備するがためであらう。

- (a)、交通運輸が便利であること。
 - (b)、勞力の供給が充分であること。
 - (c)、大都會を控へて消費額の多いこと。
 - (d)、原料品の吸集と製品の販出が容易であること。
- 今主なる工業に就いて説明すると次の通りである。

【綿絲紡績業】(大阪府、兵庫縣) 大阪府及び兵庫縣は、交通運輸並に職工蒐集の上に至便である大都市、大阪・神戸の附近を中心として規模の壯大と、組織の完備とを以て名高い多數の工場を有してゐるから、我が國第一の綿絲工業地である。因に大正十一

年に於ける全國の綿絲工場數は一七八、之に使用せる職工の數は男四四六三一人、女一六四八〇二人計二〇九四三三人であるが其の製造高は、大正九年に於て六億七千五百萬圓を示してゐる。之等の原料は、印度・支那・エジプト、北米合衆國等から輸入されてゐる。

【綿フランネル】（和歌山縣）綿フランネルは、和歌山縣を主産地とする。其の今日の盛況を呈するに至つた理由は、次の通りである。和歌山市の人で、瀬戸重助といふ人の創始であつて、初め重助が和歌山藩兵の被服地に用ひたが、無毛紋羽としては粗悪で實用に適しなかつたために新に一種の小多を織り出して、明治四年に至つて、初めて戎營の採用する所となつた。併し乍ら重助は之で満足せず、日夜良品の製出に苦心して遂に従來の紋羽に準じて起毛法を施した所が、頗る良品を得たので、直ちに之を兵部省に上納して大いに賞讃せられ、次いで多數の御用を命せられた。これが即ち紀州綿フランネルの始めである。維新後になつて士族で其の生活に窮する者は、皆この職に趨り、當局も亦之を奨励したので爾來益々年産額を増加するに至つた。

【西陣織】京都西陣から産する織物の總稱であつて、桓武天皇の頃から起つてゐる。現今其の製造は綾、錦、欄、緞子、天鷲絨等を主として、年産額六千萬圓、皆精巧優美なために世人の賞讃を博してゐる。

【友禪染】書工友染の發明にかゝる。

【縮緬】琵琶湖の南部沿岸地方は、生絲を盛に産出するので、之を原料として縮緬の製出が盛に行はれ、長濱は其の中心地である。

【麻織物】滋賀縣の南部地方に産して、其の起源は明かでないけれども、舊藩時代には彦根藩で麻布改良所を設けて、之を保護奨励し、又明治十八九年頃には、當局保護の下に見本を海外諸國駐在の領事に輸送して販路を廣め益々同業者の數を増した。

【綿ネル】（大阪府）和歌山地方から傳習して來て、明治十六年頃から織り出した物であるといふ。

【漆器】（黒江）天正の昔根來寺の僧徒が、内職として盛に製造したが、秀吉が根來を平定するに及んで根來塗は、一山の滅亡と共に廢絶した。而も其の漆り方は僧徒の

離散と共に四方に傳播した。而して黒江塗も亦全く此の際離散した僧徒から根來塗の衣鉢をついだものであるといふ。現在黒江町の住民は、總て直接間接に之が製造に關係せぬ者はない程の盛況である。

【其他】 マツチ、肥料、毛織物、藥品、機械等何れも他の地方で見られぬ程の産額があり、海外にも多く輸出される。

B 農業及林業

農業は、古來本地方の主なる生業として、其の發達最も著しく、今も尙ほ商工業と共に、各府縣に於ける經濟上の根柢をなしてゐるのは、主として次のやうな地理的原因を有するがためであらう。

(a)、廣大で豊饒肥沃な平野があること。即ち京都、奈良の兩盆地、大阪、姫路の兩平野、琵琶湖沿岸の低地及び伊勢海の海岸平野等。

(b)、灌漑が便利であること。

(c)、氣候が溫和で雨量も亦適度であること。

(d)、交通の要衝を占めて生産物の集散が容易であること。

(e)、人口稠密であつて勞力の供給、收穫物の需要共に大であること。

(f)、人文が夙によく開けてゐた、従つて、又農事思想も早く啓發せられてゐたこと等である。

今本地方の農産物中で特に産額の顯著なものに就いて見ると次のやうである。

【米、麥】 米も麥も共に沖積層の土質に適する農産物であるから、本地方に於ける之が生産地も亦勢沖積土の最も發達してゐる兵庫・三重・滋賀・大阪・奈良等の各府縣である。

【茶】 本地方は茶の生育に就いての必要條件を備へてゐる。其の條件をあぐれば、

(イ)、溫暖、濕潤の氣候であること。

(ロ)、下層の排水良好なる砂質であること。

(ハ)、粘質の土壤が深いこと。

従つて茶樹の栽培が頗る盛んに行はれて、其の産出高も極めて多い。就中彼の宇治茶の如きは、夙に人口に膾炙されてゐる。而して宇治の茶園は今を去ること六百年の昔に創業されたものであつて、爾來風土頗る茶樹の生育に適し、且つしきりに栽培に力を注いだのである。加之、豊臣秀吉が伏見にあつた頃、盛に茶の湯を好んだために宇治の茶業は愈々盛になつたのである。

彼の名高い玉露は、其の風味の高雅であつて、佳良な點に於ては實に本邦絶美の名を博してゐる。

【菜種】 近年菜種の製油並に油粕肥料は共に、他の代用品に壓倒さるゝことが多くなり、従つて其の栽植も亦次第に減少する傾向を示すに至つたが、而も本地方の滋賀・三重の二縣に於て、尙水田の裏作として、盛に栽培せられ其の年産額滋賀縣は百三十五萬圓、三重縣は百萬圓に達してゐる。

【柑橘類】 (和歌山縣) 主産地は和歌山縣であつて、古來紀州蜜柑と稱して風味絶佳の良品を多額に産出する。其の産額は近年非常に増加して、年收量蜜柑は、四百五十

萬圓、夏橙は五十萬圓であつて、その他金柑、柑子等を合する時は、實に我が國全産額の三割に近い分量を示してゐる。蓋しかくの如く盛なるは次のやうな原因によるのであらう。

(イ)、此の地の蜜柑は、三百三十餘年前までは、少しの栽培もなかつたが、天正二年有田郡の人伊藤仙右衛門なる者が、肥後の國八代から苗木數本を求め來つて宮原郡我水の庄に移植したのに始まる。

(ロ)、地味と氣候(沿岸は黒潮の暖流に洗はれて氣候は甚だ溫暖である)とが頗るよく此の植物の生育に適してゐる上に栽培のよろしきを得たこと。

(ハ)、徳川頼宣が和歌山藩主となるや、大いに保護獎勵を加へ販賣法の如きも、幕府諸侯と連絡をとつて以つて全國至る所無税として運搬賣買が自由であつたがために今日の盛況を呈するに至つたのである。

【養蠶】 (三重縣) 本地方で養蠶業の最も盛なのは三重縣である。この縣がかく盛になつた理由を検するに、

(イ)、氣候が適順であること。

(ロ)、藩政時代に龜山藩主や津山藩主が専ら斯業の保護獎勵をなしたこと。

(ハ)、維新後士族は養蠶を家職として勵んだこと。

(ニ)、爾來縣當局が、熱心に保護獎勵をなしたこと等である。

次に林業を見るに、本地方に於ける森林の配布は、劃然として南北の二部に分れ、南部は即ち三重・奈良・和歌山縣等の境界地方に發達せる吉野・熊野・高野山の大森林をなし、北部は兵庫縣・京都府の中央を横斷してゐる丹波、但馬の美林を作つてゐる。是等の森林の顯著な特色は、

(イ)、地質風土が植栽に好適であること。

(ロ)、一體に交通が便利であるために、森林は専ら此の地方住民の生計の基となり古來其の植栽施業上に數多の經驗を重ねたこと。

(ハ)、一般に民有林が發達してゐること等の結果現在のやうな美林を作つたのである。

而して熊野川流域の良材は主として川によりて新宮に送られ、又紀の川流域のものは、川又は鐵道によつて各地に送られてゐる。

○ 水 産 業

本地方は暖流の影響によつて、水産物が豊かであるが故に、好個の漁場が少くない。特に、大阪灣、伊勢海、熊野灘等は夙に本邦有数の漁區として名高く、漁船の構造、漁具の設備等其の特色を發揮せるものがある。殊に注目すべきものは、兵庫縣の製鹽業と、三重縣の眞珠養殖業とである。

【鹽】(兵庫縣)製鹽に必要な地理的要件は、後出中國地方に於ける鹽の産出要件参照のこと。本地方に於ける鹽の生産地は、兵庫縣の赤穂附近であつて、古來品質の良好を以つて有名である。年産凡そ一億三千万斤。坂出・三田尻に次ぐ我が國屈指の大製鹽地である。

【眞珠】(三重縣)眞珠の生産地は志摩半島であつて、養殖に適する灣を多數に有し

てゐる。明治二十六年御木本掌吉氏が、志摩半島の蔭にある英虞灣アゴウ湾、神明浦灣の地に六萬坪を劃して眞珠養殖の事業を始めて以來、成績頗る良好であつて年と共に隆盛に赴いてゐる。

D 鑛業

本地方は、新舊の地層相錯雜して露出し、新古の噴出岩亦其の弱點に沿うて迸發せる所あるがために、金・銀・銅等の諸鑛脈を埋藏する所が非常に多いと謂はれてゐるが現在盛に採掘されてゐる鑛山としては、生野を除くと著名なものが少く、僅に兵庫縣明延の銅、錫鑛山、和歌山縣飯盛の含銅硫化鐵山、及び建築石材として名高い兵庫縣の花崗石、和泉山脈中の和泉砂岩等が稍名を知られてゐるにすぎない有様である。

五都 邑

この地方は神武天皇以來二千五百有餘年の間我が國政治上の中心であつたのみなら

ず、東西交通上の要地として、古來幾多の治亂興廢あり、或は英雄爭覇の地となり、或は偉人集合の場所となつて、殆ど日本歴史の大半は此の地を舞臺として演ぜられたのである。従つて、名所及び舊蹟に富んでゐることは全國に其の比を見ないのである。又土地もよく開けてゐて人口の密度の如きも一方里の平均が五八五三人に上り、内地の平均數を超過すること實に三千六百餘人であつて、關東地方と相並んで我が國の二大繁榮地をなしてゐる。

現在、大阪、京都、神戸を始めとして人口一萬以上を有する市邑は、十三市、三十九町、十一ヶ村の多きに昇るといふ。而して其の總數三百九十二萬に及び、本地方に於ける全人口の約四割二分は都會生活をしてゐることがわかる。以下各府縣に就いて都邑の現勢と、之が發達の原因とを攻究すると次の通りである。

【大津市】 人口三萬一千。滋賀縣の政治及び教育の中心地をなしてゐる。市の西北長良山麓には三井寺の名所があるし、又大津電車に乗つて湖畔をめぐると、粟津、瀬田、石山等の勝地は二三十分にして訪ねることが出来るので、毎年春秋の候には奈良・

京都・大阪等に遊ぶ客は大抵本市にも集る。

【其の他】 滋賀縣には、彦根町（人口一萬八千）。長濱町（人口一萬二千）等もそれぐ相當に發展してゐる。殊に長濱町は縮緬の産地として有名である。

【京都市】 賀茂川の清流に跨り山城盆地の北方に位し、面積四方里弱、人口約六十万、桓武天皇（第五十代）が奈良から此の地に都を遷されて以來一千有餘年の間、我が國文化の中心となり、又英雄爭覇の中心地となつた土地である。明治になつて明治天皇が都を東京にお遷しになつたので、多少の寂寞も感ずるやうになつたが、併し乍ら他の都會に持つことの出来ぬ獨特の文化もある。今京都市の主要な特色を擧ぐると次の如くである。

（イ）、歴史的に思出の多い都市であること。

第五十代桓武天皇が奈良から此の地に都をお遷しになつたために、其れまで茫莫たりし一帯の平野は、こゝに一躍して文化の中心となつた。従つて其處には其れ等の各時代を物語る幾多の遺蹟が残されてゐる。即ち此の都市が遊覽に適する所以の一つである。

ある。

（ロ） 遊覽的の都會であること

東本願寺、西本願寺を始めとして、諸佛教の本山は大抵此の地にある。従つて之等の神社・佛閣に來り詣づるもの毎年百萬を下らぬといふ。加之、之等の神社佛閣の外に東山を初めとして幾多の景勝の地が少くないので、遊覽の都市としてはおそらく我が國第一であらう。

先づ南部方面にある東本願寺、西本願寺は、共に我が國眞宗の本山であつて、全國の一千二百萬餘の信徒（西本願寺は信徒七百萬、東本願寺は五百萬と稱されてゐる）の崇敬の中心である。西本願寺は親鸞上人の開かれたもので、其の堂の大きさ横二十三間半縦二十一間半、高さ十三間に達する。

東本願寺は教如上人の開かれたもので、其の堂の大きさ横三十五間、縦三十二間、高さ十一間、其の宏大なること全國無比と稱されてゐる。

次に西部方面では、官幣中社で菅原道實の靈を祀つた北野神社があり、又嵐山の勝

景がある。嵐山は、其の山水の秀麗であること、櫻花の美しいことで其の名が天下にひびいてゐる。此の嵐山の櫻は、龜山上皇が特に吉野山から移し植ゑしめ給ふたものであるといふ。次に北部方面に行くと、金閣寺・銀閣寺・京都御所等がある。

金閣寺は、將軍足利義滿が此の地を愛し、山莊を衣笠山の麓に營み、世事を捨て、此所に移り住んだ所である。彼の有名な金閣は三層の寶形作りで、天井、柱、壁など皆金箔を施したので、金閣の名を得たものであるが、今日は殆ど全部はげてしまつて、三階の天井に僅かに金色を残してゐるのみである。之を見ると、當時の榮華をそゞろにしのばしむるものがある。庭園も亦規模が廣大で、池があり、島があり、泉があつて人工の美を盡してゐる。

銀閣寺は、將軍足利義政が山莊をこゝに營んで、北山の金閣に倣つて、柱、壁、戸障子等に金箔（銀箔に非ず）をちりばめんとしたのであるが、金閣の名をとらずに特に銀閣と名づけたのである。

京都御所は、東西百三十七間、南北二百四十七間、四方に塀をめぐらしてある。都

が東京に遷された今日でも尙御即位の大禮及び大靈會は此の地で行はれることゝ定められてゐる。

次に東山方面に向ふと、方廣寺・豊國神社・阿彌陀峰・三十三間堂・清水寺・智恩院・南禪寺・平安神宮等がある。

方廣寺は天正十四年に豊臣秀吉が、二十一ヶ國に役して創建した大寺である。豊臣氏の末路に「國家安康」の文字によつて物議を醸した鐘は、今も残つてゐる。

豊國神社は、豊臣秀吉を祀つた別格官幣社である。

阿彌陀峰は、平地を抜くこと四百尺の高地にあつて、豊臣秀吉の遺骨を埋めた所である。徳川幕府三百年の間は全く荒廢してゐたが、明治三十一年頃に至つてやゝ舊に復した。

三十三間堂は、平忠盛が後醍醐天皇の勅を奉じて建立した御堂である。三十三間といふが、實は二間を隔て、柱をたてゝあるから、六十六間ある譯である。堂内には澤山の佛像が安置されてゐる。

清水寺は、東山にあつて、景色のよい所である。

僧月照の住んだ成就院も亦有名である。

智恩院は、法然上人の開いた浄土宗の總本山である。山門は特別保護建造物となつてゐる。其の廻廊の縁は俗に鶯張りと呼ばれて左甚五郎の作だと稱せられてゐる。

南禪寺は臨濟宗の本山で、龜山上皇の開基にかゝはる。

平安神宮は、大極殿に倣つて作つたもので桓武天皇を祀つた官幣大社である。明治二十八年に桓武天皇奠都一千百年の記念祭に、京都市が記念として造營したものである。

(ハ) 美術工藝の都市である。

藤原氏全勢時代以來、特に我が國美術工藝の中心はこの地であつた。帝都の遷つてしまつた今日も尙其の餘勢を残してゐて、東京に一步を譲らぬ状態にある。

【奈良】 史蹟に富んでゐる都會であつて、生産力は少く、奈良人形、鹿角細工、根來塗、奈良晒布、蚊帳、奈良漬、霰酒、筆墨等の名産があるにすぎない。大正十二年

の四月一日の調べによると人口四萬二千と稱せられてゐる。

奈良は歴史上、遊覽上の都市として代表的のものであるが、近時女子高等師範學校が設けられた。

【大阪】 大阪は周圍十一里十六町、面積三方里七分九厘ある。大正九年の國勢調査の結果人口百二十五萬であつた。

又大阪は水の都市であつて、運河、河川は凡そ四十に達し、其中延長一千間以上のもの凡そ十個を算し、宇治川の如きは三千三百間、幅の平均が百五間ある。橋は五百四箇の多きに昇つて、市營の電氣鐵道は延長四十四哩に達し、一年間に於ける一日平均七十萬の乗客がある。鐵道の乗車客は一日に約四萬二千人ある。

大正九年大阪工業品の産額五億五千八百七十三萬圓弱の中三割五分は機械工業であることを以て見れば、如何に機械工業が盛であるか察せらるゝと思ふ。

機械工業品では器具及び金屬材料が最も多く、船舶は之に次ぐ。

織維及び染織工業品では、綿絲、綿織物等が盛である。

一年に費される工業燃料は石炭十五億斤、コークス九千九百萬斤、油六千餘石である。煙突の数が一千六百六十五に達してゐる。大阪を煙の町たらしむるのも無理のないことである。

大阪港の輸出は、明治二十八年には百萬圓ぐらゐであつたが、大正十年には二億九千萬圓に達した。輸入額は大正十年には、一億一千九百萬圓を示し、横濱神戸に次ぐ大貿易港たるの面目を保つてゐる。

大阪市の主なる取引先は、支那・印度・香港・蘭領印度等で、輸出の九割はアジアの諸國との取引である。輸出品の主なるものは、綿絲（四七七九萬圓）綿布（一四五七三萬圓）紙（一二〇四萬圓）等で、輸入品の主要なるものは繰綿（二〇七〇萬圓）砂糖（一三二七萬圓）木材（九七六萬圓）等である。

従來この地は單なる商工業の町であつたが、各種の學校もだん／＼増設せらるゝやうになつた。府立大阪醫科大學、高等工業學校、外國語學校、大阪高等學校等がそれである。

【神戸】神戸市は、横濱と共に日本第一の大貿易港であることは喋々するまでもない。神戸市大正九年の産額は兵庫縣産額の三分の一即三億四千三百萬圓に達し、其の九割八分は工業である。工業物の主なるものは船舶（五七四一萬圓）精糖（三八九六萬圓）マッチ（三三四七萬圓）綿絲（二三五九萬圓）鑄物類（一九〇七萬圓）機械器具（一五〇〇萬圓）麥粉（一二九五萬圓）車輛（一二七二萬圓）綿布（一二四二萬圓）植物性油（一〇四一萬圓）等である。更に生絲を見るに大正八年に約四億三百萬圓を示してゐる。神戸港の輸出は明治一九年までは一千万圓未滿であつたが、大正八年には十億圓に達し、大正十年には七億六千八百萬圓となつて、今日では全國第一の輸入港である。

主要輸出先は、支那（五五〇二萬圓）香港（二七二二萬圓）蘭領印度（二六九八萬圓）英領印度（二五九一萬圓）米國（二三六一萬圓）フィリッピン（一〇五四萬圓）等で、アジア諸國は輸出總額の凡そ七割四分を占めてゐる。

輸入元は、米國（三、〇七七四萬圓）を始め、英領印度（一五〇九六萬圓）英吉利（九一九一萬圓）支那（五〇三六萬圓）獨逸（二七九七萬圓）其他、關東州、濠洲等である。

主要輸出品は、綿絲(二五九七萬圓)綿布(四六〇八)燐寸(一三九四萬圓)等である。

主要輸入品中繰綿(三一七三五萬圓)は、實に全國輸入額の四割一分に當り、之に次ぐものは、鐵、機械類、木材、羊毛、砂糖等である。

神戸は商工業地たるのみならず、近時學術の中心地となる傾もある。高等商業學校・高等工業學校・商船學校等の官立専門學校も設立されてゐる。

【津】三重縣にある開港場であつて工業都市で、高等農林學校が設けられてゐる。工産品は、織物、綿絲が九割を占めてゐる。人口約四萬八千、三重縣第一の都會。

【和歌山】和歌山縣應の所在地で縣の行政上の中心をなしてゐるが、又、工業が近時起つて益々市の發展を助けてゐる。主なる工業品としては綿織物が年四千萬圓も産出されてゐる。その他、足袋、酒類なども相當に産する。人口八萬三千人。

【姫路】兵庫縣にある一都市で、第十師團司令部の所在地である。人口四萬五千。

【宇治山田市】伊勢神宮は、宇治に内宮、山田に外宮があつて、この二ヶ所の町を合して宇治山田市を生じたのである。長い一本道の街道で、純然たる參詣人の町であ

る。人口三萬九千。

【伏見】京都市の南方一里に位し、豊臣秀吉が伏見城を築いてから急に人家が増して、今日では三萬に近い人口を有する町である。舊都京都を守るに大切な位置に位してゐるので昔から幾度も戰場となつた。

【桃山の御陵】伏見町の東にある丘陵地である。明治四十五年七月卅日に明治天皇が崩御しますや、九月十四日に、御靈柩を此處に葬り奉つた。御陵域は前面七十間奥行八十五間で、面積が六千坪あるといふ。

其の東には、大正三年四月十一日御崩御遊ばされたる照憲皇太后の御靈柩を葬り奉つた。又御陵の下には先帝に殉じた乃木大將を祀れる乃木神社、及び同夫人を祀れる静魂神社等がある。而して參拜者は四時たえたことがない。

【宇治】宇治川の南岸に位し、有名な平等院のある所で、人口が六千人。この地は京都の門戸に當つてゐるので、昔から名高い戦争のあつた土地である。賴政の自殺、宇治川の先陣等は有名である。今日では宇治の發電所、及び其の附近に産する茶の集

散地として世に知られてゐる。

(備考)

(1)、比叡山の延暦寺。比叡山は京都府と滋賀縣との境にある有名な山であつて、高さが八百五十米、天臺宗の總本山たる延暦寺は、其の北側にある。この寺は、桓武天皇が僧最澄に勅して開基せしめ給ふた寺で有名な僧兵が信長のために火ぜめにされたのもこの寺で、根本中堂は昔のまゝの形で残つてゐる。

(2)、舞鶴町。人口一萬餘の都會であるが、軍港が要港になつてしまつた今日將來の發展は望まれまい。

(3)、新舞鶴町。海軍區の鎮守府を此處に置かれてから急に發展を遂げた所であるが、軍港の廢止と共に町の賑ひは衰へること、豫想される。

(4)、尼ヶ崎市。人口三萬八千人、大阪、神戸兩市の間に介在し、近年工業の勃興と共に非常なる發展をなし、遂に市を形成するやうになつた。綿絲、燐寸、機械、セメント等の工業を主なるものとしてゐる。

(5)、春日神社。春日神社は今から凡そ千五百年前の、神護景雲二年の創建にかゝり、武甕槌命・經津主命・天兒屋根命・比賣大神を祀つてある御宮で官幣大社である。境内には約一千の石燈籠と、數百の神鹿が遊び戯れてゐるのが特に目になつた。

(6)、東大寺。東大寺は、奈良朝の頃、聖武天皇が國分寺の一として建立し給ふた寺で、華嚴宗の巨刹である。

世に名高き大佛は、像の高さ五丈三尺五寸、重さ十二萬四百貫、口の長さが三尺七寸あつて鑄物としては、世界第一といはれてゐる。この佛像を安置してある大佛殿は、高さ十六丈、間口十八丈八尺、奥行十六丈六尺、世界第一の木造建築物である。

(7)、正倉院。正倉院は間口十八間、奥行五間、高さ五間、内部は三部に區分せられ、寶物は奈良朝時代のものであつて、東洋文化のほこりを物語つてゐる。

(8)、興福寺。藤原氏の氏寺であつて、火災にかゝつたために僅かに其の一部分が残存してゐる。

(9)、法隆寺。聖德太子の創建にかゝる建築物が現今尙存することは世界にはほころべきものがある。

(10)、橿原神宮及畷傍山御陵。橿原神宮は明治二十三年の創建に係り、神武天皇を祀つてある官幣大社である。御陵は橿原神宮の北に位し周圍四百五十間に達する森林でかこまれてゐる。

(11)、多武峯、吉野山。鎌足を祀つた談山神社のある多武峯、歴史上の古跡として、また櫻と杉とで名高い吉野山も奈良縣にあつて、遊覽の客をひく。

(12)、金剛峯寺。高野山は和歌山縣の北部に位し、金剛峯寺のあるので有名である。僧空海の眞言宗開基の寺として有名である。

(13)、那智の瀧。新宮の西方にある、直下八十四丈もある、高さが高いので有名である。

(注意)

(イ)、都市を取扱ふ際に、行政区劃を重視する結果、其の町の生命を失はしめることを往々にして見ることがある。例へば、神戸が恰も、兵庫縣の中心地の如く考ふる時は我が國第一の貿易港たるの意義を失つてしまふ。之等の點の取扱ひに注意して新教科書は編纂してある如く思はれる。

(ロ)、百一頁「工業地區」、百六頁「貿易」、「大開港場」等の意味を明かにすべきである。

(ハ)、阪神地方の繪葉書、其の他の直觀方便物は、兒童の家庭に註文すれば、多くの場合に於て手にすることが出来る。

(ニ)、都邑を研究する場合に、其の發展の理由を無理に附することなきやう、又いつも同じやうな研究方向の型にとらはれてはならぬ。

(ホ)、大阪府にある堺市の如きは、昔からの良港として名高い所であつたが、大阪市に近いために、之に物資を吸収されて、長い間町の發展はなかつたのであるが、歐洲戰爭が始まると、にはかに人口が増して來た。之港のあるがためではなくつて、工場が増設が原因となつたのである。都市の發展の原因については周到なる研究をなされば、往々見方をあやまることがある。

復習指導

(一)、洋半紙一枚に、大阪、敦賀間の断面圖を書いて下さい。(二)、地理書附圖の第一圖水深と、第十一圖とを對照して近畿地方に於て海の最も深い所の深さをしらべなさい。(三)、海峡といふのはどんな所ですか。(四)潮流とは何ですか、そしてどんなところに起るのですか。(五)、水道、及灘とはどんなところですか。(六)附圖第十一圖に現はれてゐる、神戸及び大阪から出る航路は、どの方面に行くのかよくよんで其の行先を、第二十一圖でしらべなさい。(七)、神戸及大阪に輸入される品物の主なるものは何ですか、そしてそれはどここの國から輸入しますか。附圖第一圖を御覽なさい。(八)、瀬戸内海方面はどういふ譯で鹽がたくさん産するのですか。(九)京都と大阪とは町の性質がどんなに違いますか。(十)、地理書附圖第十圖をよく御覽なさい。(十一)、近畿地方の地圖を半紙一枚に書き上げて、第一圖諸記號「表圖の記號」と對照してかき入れて下さい。(十二)、近畿地方全部を通讀して不明な點を先生に質問して下さい。(附圖、地理書部分圖、及地理書の挿繪と對照しながら)。

第六 中國地方

豫習指導

(一)、中國地方の略圖を書いて縣分けをなさい。(二)、この地方の山脈についてしらべなさい。(三)、瀬戸内海方面と、日本海方面とを比較して御覽なさい(川、海岸、港)。(四)、中國地方の産業圖をお作りなさい(略圖を洋半紙に書いて、地理書を見て産物の名を其の地圖にかきこんで行くのです)。(五)、我が國の牛の總數は約何萬頭ですか(百十二頁)。(六)、山陽線に沿ふた主な都會の名を神戸からかき始めなさい。(七)、關門連絡船とは何ですか。又この連絡に要する時間ほどの位でせう。(八)、關釜連絡船とは何ですか、又毎日何回船が出ますか。又此の連絡に要する時間ほどの位でせう(地理書にも出てゐますが、旅行案内でしらべるとよく分ります)。(九)、瀬戸内海の交通を地圖によつてしらべなさい。(一〇)、何でもしらべて質問したいことをノートブックに記入して下さい。

教材解説

一、區域

本地方は、岡山・廣島・山口・島根・鳥取の五縣で、面積は二千五十三方里、近畿地方より少し狭い。そして人口は約五百萬、一方里について二千四百人内外である。

二、地勢

A 分水嶺

この地方は、中國山脈が其の大部分を占めてゐる。此の山脈は一般に低くて、最高一千七百米突内外である。この山脈の分水嶺は東西に連つて、而かも北方に片寄つてゐるために日本海方面は土地が非常に狭い。加之、日本海方面には白山火山脈が中國山脈に沿うて東西に走つてゐるために益々地勢がけはしくなつてゐる。此の白山火山脈は大山を主峯としてゐて、更に西に走つて北九州にのびてゐる。大山は米子町の東方にそびゆる休火山であつて、高さ一千七百十三米、中國第一の高峰であるのみならず、其の形富士山に似てゐるために出雲富士又は伯耆富士とも呼ばれてゐる。其の他のこの火山脈に屬する山には、蛭山(一千百五十八米)、三瓶山(一千百二十六米)、青野山(九

百六米)、菅山等がある。

B 瀬戸内海方面

瀬戸内海方面の川としては、次のやうなのが主要なものである。

【吉井川】 全長三十五里、舟楫の便を有する所本流、支流を合せて三十一里に及ぶ。源を三國山に發して南流し、津山盆地の南をめぐつて更に南流してゐる。

【旭川】 全長三十七里、舟楫の便は本支流合せて二十一里に及ぶ。源を蛭山火山附近に發し、南流して岡山市を貫流し、兒島灣に入る。此の川は吉井川と共に古來土砂を運搬することが多く、年々豊沃な新田を海岸に増加してゐる。

【川邊川】 (高梁川) 全長二十八里、舟楫の便は本支流を合せて四十里に及ぶ。源を花見山に發し、成羽川の大支流を合はせ、玉島町の東で水島灘に入る。

【太田川】 全長三十里、舟楫の便、本支流合せて四十里に及ぶ。

【岩國川】 (錦川) 全長三十二里、舟楫の便は二十里に達する。源を兄見山の南方に

發し、岩田町の東で廣島灣に入る。

之等の川の下流地方には小平地が開けてゐる。従つて之等の平野からは米其の他の農産物が出来ることはいふまでもない。

次に海岸の出入屈曲を見るに、屈曲が多く従つて海岸線が長い。島嶼、港灣も多く波は静かで風光も亦非常に優れてゐる。主なる海灣としては、播磨灘・水島灘・備後灘・安藝灘・廣島灣・周防灘等がある。

而して瀬戸内海は、四方陸地で包まれ、波が極めて静かであるから船舶の交通が非常に便利である。港の主要なるものとしては、下關・宇品・吳・尾道等がある。

(備考)

(1)、瀬戸内海の平均の深さは十五尋である。

(2)、瀬戸内海の成因は土地の變動の最も著しかった第三紀の時代に、此の地域にも大地變が起つて、西は關門海峡から東は大阪灣を経て、山城・大和・近江の諸盆地をつられて一大陥落作用を生じ、こゝに瀬戸内海陥落地帯なる窪地をつくつたのである。固より、短日月の間に出来たものではないが、一度一大窪地を生ずる

や、海水が、紀伊水道や、豊後水道の方面から浸入してきて、それ以来幾多の星霜を経る間にたえず急潮の去來をつけて、其の沿岸に浸蝕作用を逞しくした結果遂に現在のやうな凹凸極まりない海岸をつくつたのである。又陥落しないで残つた大小の土地は島嶼となつて瀬戸内海の風光に一段の美を添へてゐる。

C 日本海方面

日本海方面の川であぐべきものは次のやうなものである。

【千代川】 全長十三里、源を邦岐山に發して北流する。

【日野川】 全長十九里、源を船通山、道後山の間を發して米子の平野に出で美保灣に入る。上流地方には粗質の花崗岩が多いので、これが流れて、下流の河床は次第に高まつてゐる。河口附近から西北に突出する夜見濱も亦之等の流出物によつて出來たものに外ならぬ。

【斐伊川】 (簸川) 全長二十二里、源を船通山の西に發してゐる。川上にある仁多郡湯村の天淵は、素盞鳴尊が八岐の大蛇を退治して天叢雲劍を得たまふた遺跡として夙に人に知られてゐる。

【江ノ川】 全長五十一里、中國地方第一の大川である。

【高津川】 全長二十里、舟楫の便は十四里に及ぶ。

次に海岸について見るに。

中央に島根半島と、夜見濱とが突出してゐる外は一般に單調であつて、裏日本沿岸に通有な地形を示してゐる。

島根半島は、凡そ十七里の間連互する孤立したる一山脈である。

夜見が濱は、日野川の運搬した土砂が、北風のために吹きつけられて砂濱をなし、西北に長く突出したものであつて、長さ五里、幅一里其の先端に境の良港をもつてゐる。沿岸一帯は白砂青松で、風光が頗る明媚で夏季になると海水浴に來遊するものが少くない。

中の海は島津半島と夜見ヶ濱の砂嘴とで外海と隔てられ、東西二里半、南北約二里周圍約十六里、我が國第八の大湖である。宍道湖は東西四里強、南北一里二十町周圍十二里我が國第十二の大湖である。

又島嶼としては隱岐の火山群島がある。島根半島の尖端にある美保關から凡そ七時間間の航程である。島前、島後の二大島と之に附屬した數多の島々から出來てゐる。全島殆ど山地から出來てゐて良港に乏しい。只僅かに島後の西郷港が唯一の安全な錨地として本土との連絡をはかつてゐる。

この方面の地勢は以上述べた通りであるが、其の上、冬季には風雪が多く、又波風も高いので海上の交通は非常に不便である。従つて瀬戸内海方面に比べると人口も亦稀薄で、産業も振す、従つて都邑も少い譯である。

三、産業

A 農業、牧畜

本地方に於ける農業上の顯著な特色は

(a)、關東地方や、中部地方のやうな廣大な而も豊沃な平野を見ることが出來ないこと。

(b)、山陽方面は氣候が溫和で平地も割合に多く、農業が發達してゐるが、山陰方面は之に反する状態である。

而して、本地方の主要なる農産物は米である。中でも岡山縣の百七十萬石、山口縣の四十萬石等は特に注目に價する。麥も亦相當の額に上り、廣島縣の七十五萬石、岡山縣の七十萬石、山口縣の五十萬石等は顯著なものである。

其他、甘藷、除蟲菊、果樹等も亦相當の額に上つてゐる。

次に中國地方の養蠶業を見るに、極めて其の發達がおそく、この地方全體の産額が長野縣の二分の一にも達し得ぬ状態である。

この地方の牧畜業は古來其の名高く、殊に牧牛地として有名である。奥羽地方の馬と並んで本邦屈指の牛の産地である。この地方にかく牧畜が盛になつた原因は色々あるが主なもの、山地が丘陵性であつて至るところに平坦な高臺や、原野が横たはつてゐて、而かも、未だ十分に耕作地として開拓されてゐないために、この地を牧場に使用するのである。故に牧畜の方法も非常に進歩し、牧場も廣島縣三次の附近にあ

る農林省直轄の七塚原種畜牧場など有名なものが少くない。

而してこの地方に産する牛は、強健であつて労働に使用される許りでなく、又性質も温順である。世に有名な神戸牛は、岡山・廣島兩縣に産出したものを、更に上等な食物を與へて、神戸地方で牛肉として販賣するからこの名があるのである。

最近に於ける中部地方各縣の産出状態を示せば、

縣名	總頭數	全國の順位
廣島縣	一〇五九〇〇頭	一
岡山縣	一〇五四〇〇頭	二
山口縣	七〇三〇〇頭	六
島根縣	六八八〇〇頭	八
鳥取縣	四三〇〇〇頭	十二

B 工業・鑛業

【紡績業】 山陽紡績、倉敷紡績等の廣大な工場が少くない。岡山縣の綿絲製造高は

約八百萬貫、我が國の第四位をしめてゐる。

【綿織物業】 綿織物業は近年次第に隆盛におもむき産額も非常に増加した。その中でも岡山縣の雲齊織等は特に有名である。

【山繭織】 廣島縣の山繭織も特色あるものとして世に知られてゐる。

【疊表】 廣島縣の御調、沼隈の二郡からは美しくて而かも強靱な繭がとれる。之等を原料として製した疊表は廣島縣の五百四十萬圓、岡山縣の百六十萬圓は實に夥しい産出高を現したものと見られる。

【莫産・花蒔】 岡山縣は年産額七百萬圓、廣島縣は百萬圓内外である。

【眞田類】 麥稈眞田、經木眞田は岡山縣には五百萬圓、廣島縣には二百萬圓を産出する。

【石炭】 山口縣の豊浦、美禰兩郡に跨る一帶の地方に産する。この地方の石炭は其の質無煙炭に類した良好なものである。

【銅】 銅は岡山縣の吉岡、島根縣の笹ヶ谷、寶満山等に産出する。

【金】 岡山縣の吉岡、島根縣の大森などに多い。

【花崗岩】 花崗岩の分布は非常に廣い、運搬の容易な所では盛に生産して建築用材其の他に使用される。

【硯石】 山口縣厚狹地方から出る硯石は赤間關として有名である。

C 水産業

此の地方の水産業は古來頗る發達して、沿岸住民の主要なる産業となつてゐる。今其の理由をしらべると。

(a)、中國地方が本州の西方に突出してゐる一大半島をなしてゐること。(b)、黒潮の一派である對島暖流が海岸の近くを東西に流れてゐること。(c)、朝鮮海峽に於て、リマン寒流と對島暖流とが衝突しこゝに寒暖二流が會して多種の魚族が棲息すること。(d)、瀬戸内海は波が静かである港灣が多く漁業をなすに便宜が多いことなどを挙げねばならぬ。

而して漁業に従事するものは遠く朝鮮近海まで出漁するものが少くない。

水産物の漁獲高は此の地方全部で三千三萬圓以上に及ぶといふ。水産物中山口縣の鯛は年額四百萬圓に達し我が國第一位である。又同縣の鯨の捕獲高も全國第一である。廣島縣の牡蠣も亦年産額四十萬圓内外で全國第一である。其の外島根縣のスルメも産額が相當にある。

次に瀬戸内海の製鹽業であるが、此の地方は製鹽業地として我が國では無比であることは人のよく知る所であるが、かく隆盛を致した原因は次のやうな有利な條件を具備してゐるからである。

(a)、瀬戸内海は、北に中國山脈があり、南に四國山脈があつて、之等によつて濕氣の多量に含まれた雲はさへぎられるから雨が少い。(b)、雨が少く、晴天が多いため空氣が乾燥してゐる。(c)、海岸には砂濱が多い。(d)、満潮、干潮の差が大である。(e)、波が静かであるために、鹽田の製造に都合がよい。(f)、交通の便が十分である。(g)、海水中の鹽分の含有量が多い。

産額は山口縣（三田尻方面を主産地とする）が年額一億六千萬斤、廣島縣（尾道、竹原地方を主産地とする）の一億二千萬斤、岡山縣（兒島半島の沿岸地方を主産地とする）の一億斤内外が主なるものである。

（注意）

（イ）、製鹽には、臺灣及び關東洲の如き天日製鹽法もあれば、ロシアに於けるが如く、岩鹽から製精する方法もあるから、之等の方面のことは一應簡單に話してヒントを與へておくことが肝要である。

（ロ）、製鹽の詳しい方法上の説明は理科に譲ることにするがよいが、この地方には廣い鹽田をもつてゐるから其點について理會せしめなくてはべきである。

（ハ）、山口縣の水産物の多いのは、近海たる内地方面で捕獲する分は少く、主として遠洋漁業として危険をかして、朝鮮近海に出かけるからである。

（ニ）、水産業といへば、すぐ海の魚を考へる場合が多く、川魚、湖水の養魚、海獸、コンブ等をぬかすきづかひがあるから注意を要する。特に兒童は水産物中に鹽の含有されてゐることをきづかない場合が多いから氣をつけねばならぬ。

（ホ）、廣島灣に於けるカキの養殖は我が國に於ても珍らしいことの一つであるから、近代の學術を應用して、

水産物の産額をます工夫は特に氣をつくべきことである。

四、交通、附瀬戸内海の交通

A 瀬戸内海方面の交通

瀬戸内海方面の鐵道の主要なものを舉ぐれば、次のやうなものである。

線名	哩數	起點及終點
山陽線	三二九哩	神戸—下關
宇野線	二〇、四哩	岡山—宇野
吳線	一二、四哩	海田市—吳
大嶺線	一二、二哩	厚狹—大嶺

就中、山陽線は、東海道線、奥羽線と共に本土に於ける大幹線であつて、産業上、交通上、軍事上最も重要な線である。

次に鐵道連絡船に就いて見るに、九州との連絡船、朝鮮との連絡船、四國との連絡

船の三つがある。

【關門連絡船】 下關と門司との間の連絡船である。汽車が下關又は門司に着くと直ぐに連絡船が出る。十三四分位で對岸につく。又貨車は其のまゝ曳船で對岸に運ぶ。一回に二三車を運ぶにすぎぬが毎日六十回近くも往復するので容易に巨額の貨物を運搬することが出来る譯である。

【關釜連絡船】 下關と釜山との間の連絡船である。即ち此の兩地間には毎日晝夜二回の連絡船がある。海上百二十二哩を約九時間内外で達し、直ちに、京釜鐵道の急行列車に乗ることが出来る。

【四國との連絡船】 宇野、高松間の連絡船である。海上一時間十分内外で此の兩地間を往復することが出来る。

B 日本海方面の交通

この方面の鐵道としては次のやうなものがある。

線名	哩數	起點	終點
山陰本線	三二〇、七哩	京都	石見益田
山口線	五八、四哩	小郡	石見益田
大社線	四、七哩	今市	大社
境線	一一、二哩	米子	境
因美線	一九、八哩	鳥取	地頭
伯備北線	三二、二哩	上石見	大山

久しい間の問題であつた山陽、山陰兩線の連絡によつてこゝに中國地方の交通も面目を新たにした譯である。

日本海方面の沿岸には、良好なる港灣が少い許りでなく、冬季に海上があれは缺點がある上に、産物が少いので勢交通は發達しない譯である。たゞ大阪商船會社の定期船が、神戸、門司を経て、下關に來り、之から仙崎、萩、須佐、濱田、溫泉津、杵築の諸港を経て境港に至る航路があるのみであつて、外に沿岸を走る小汽船も少く、境港と隱岐島との間、宍道湖、中海等の沿岸に僅かに往來してゐるに過ぎない。